

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人新潟大学長 牛木 辰

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏名	国立大学法人新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

新潟大学医歯学総合病院
-------------

3 所在の場所

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通1番町754番地
電話(025)223-6161

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科		4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「1呼吸器内科」及び「9感染症内科」にて提供される医療は「呼吸器・感染症内科」において、「4腎臓内科」及び「11リウマチ科」にて提供される医療は「腎・膠原病内科」において、「7内分泌内科」及び「8代謝内科」にて提供される医療は「内分泌・代謝内科」において提供している。							

- 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 (注) 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「3乳腺外科」及び「7内分泌外科」にて提供される医療は「乳腺・内分泌外科」において提供している。							

- 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 (注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	肝胆膵内科	3	腫瘍内科	4	形成・美容外科	5	リハビリテー
6	病理診断科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64				763	827

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	400	277	560.9	看護補助者	15	診療エックス線技師	0	
歯科医師	124	101	162.4	理学療法士	15	臨床検査 臨床検査技師	64	
薬剤師	59	0	59	作業療法士	4		衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	7		その他	0
助産師	31	0	31	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0	
看護師	806	11	814.1	臨床工学士	22	医療社会事業従事者	12	
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	5	
歯科衛生士	22	0	22	歯科技工士	6	事務職員	216	
管理栄養士	6	1	6.3	診療放射線技師	43	その他の職員	71	

1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

(注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	87	眼科専門医	16
外科専門医	42	耳鼻咽喉科専門医	17
精神科専門医	9	放射線科専門医	17
小児科専門医	32	脳神経外科専門医	18
皮膚科専門医	11	整形外科専門医	33
泌尿器科専門医	14	麻酔科専門医	11
産婦人科専門医	31	救急科専門医	14
		合計	352

1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

(注) 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 富田 善彦 ) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成31年4月1日から、医療安全管理委員会(医療法施行規則に規定された医療安全管理委員会に該当)の委員長であり、新規医療技術等管理センター(医療法等施行規則に規定された高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の担当部門に該当)の部長である。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	620.4 人	17.5 人	637.9 人
1日当たり平均外来患者数	1,556.60 人	562.9 人	2,119.50 人
1日当たり平均調剤数		3,098	剤
必要医師数		162	人
必要歯科医師数		32	人
必要薬剤師数		40	人
必要(准)看護師数		416	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数			
集中治療室	718 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	28 床 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	42 m <sup>2</sup>	病床数	3 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積		116	m <sup>2</sup>	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	403 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	臨床検査情報システム、搬送ライン一式、臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖・HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、蛋白泳動装置、多項目自動血球計数装置、全自動血液凝固測定装置、全自動尿分析装置、全自動尿中有形成分分析装置、赤血球沈降速度測定装置、顕微鏡、試薬庫、純水製造装置、遠心機、検体保管庫、安全キャビネット、ドラフト		
細菌検査室	161 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物分類同定分析装置、同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、全自動遺伝子解析装置、顕微鏡、試薬庫、遠心機、検体保管庫、培養装置、安全キャビネット		
病理検査室	338 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR 装置		
病理解剖室	221 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー		
研究室	755 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン等		
講義室	1,117 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	11 室	収容定員	695 人
図書室	99 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	6500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	88.9	%	逆紹介率	105.1	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		14,105		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		19,667		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,518		人
	D: 初診の患者の数		18,695		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
月岡 恵	元 新潟保健所長 新潟県労働衛生医学協 会(新潟ウェルネス所属)	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
佐藤 信昭口	元 新潟県立がんセン ター新潟病院長 新潟県労働衛生医学協 会副会長		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
三部 正歳	りゅーと法律税務会計事 務所 所長(弁護士, 税 理士)		法律に関する識見を有す る者	無	1
堀江 直純口	新潟大学理事(総務・財 務・施設 担当)		医療を受ける者その他医 療従事者以外の者	有	2
岡 俊幸	新潟大学監事(業務監査 等担当)		医療を受ける者その他医 療従事者以外の者	無	2

- 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 (注) 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
細胞診検体を用いた遺伝子検査	105人
内視鏡的憩室隔壁切開術	3人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	2
取扱い患者数の合計(人)	108人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
取扱い患者数の合計(人)	0



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	56	多発性嚢胞腎	53
2	筋萎縮性側索硬化症	37	57	黄色靱帯骨化症	3
3	脊髄性筋萎縮症	7	58	後縦靱帯骨化症	47
4	進行性核上性麻痺	15	59	広範脊柱管狭窄症	8
5	パーキンソン病	68	60	特発性大腿骨頭壊死症	87
6	大脳皮質基底核変性症	5	61	下垂体性ADH分泌異常症	17
7	ハンチントン病	1	62	下垂体性TSH分泌亢進症	3
8	神経有棘赤血球症	1	63	下垂体性PRL分泌亢進症	14
9	シャルコー・マリー・トゥース病	3	64	クッシング病	9
10	重症筋無力症	158	65	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	40
11	多発性硬化症／視神経脊髄炎	147	66	下垂体前葉機能低下症	134
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	25	67	先天性副腎皮質酵素欠損症	17
13	封入体筋炎	3	68	先天性副腎低形成症	1
14	クロー・深瀬症候群	4	69	サルコイドーシス	121
15	多系統萎縮症	13	70	特発性間質性肺炎	27
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	45	71	肺動脈性肺高血圧症	36
17	ライソゾーム病	17	72	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
18	副腎白質ジストロフィー	6	73	慢性血栓性肺高血圧症	15
19	ミトコンドリア病	10	74	リンパ管筋腫症	7
20	もやもや病	75	75	網膜色素変性症	13
21	プリオン病	1	76	バッド・キアリ症候群	3
22	HTLV-1関連脊髄症	2	77	特発性門脈圧亢進症	3
23	全身性アミロイドーシス	35	78	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	35
24	遠位型ミオパチー	1	79	原発性硬化性胆管炎	1
25	神経線維腫症	55	80	自己免疫性肝炎	25
26	天疱瘡	33	81	クローン病	172
27	膿疱性乾癬(汎発型)	20	82	潰瘍性大腸炎	277
28	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	83	好酸球性消化管疾患	1
29	高安動脈炎	32	84	慢性特発性偽性腸閉塞症	4
30	巨細胞性動脈炎	7	85	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	1
31	結節性多発動脈炎	8	86	クリオピリン関連周期熱症候群	1
32	顕微鏡的多発血管炎	39	87	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	7
33	多発血管炎性肉芽腫症	39	88	先天性ミオパチー	3
34	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	27	89	筋ジストロフィー	8
35	悪性関節リウマチ	11	90	脊髄空洞症	1
36	パージャール病	2	91	脊髄髄膜瘤	2
37	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	92	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	3
38	全身性エリテマトーデス	351	93	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びま ん性白質脳症	1
39	皮膚筋炎／多発性筋炎	130	94	限局性皮質異形成	1
40	全身性強皮症	109	95	レノックス・ガストー症候群	3
41	混合性結合組織病	43	96	ウエスト症候群	2
42	シェーグレン症候群	20	97	ラスマッセン脳炎	1
43	成人スチル病	15	98	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	1
44	再発性多発軟骨炎	6	99	スタージ・ウェーバー症候群	1
45	ベーチェット病	72	100	結節性硬化症	9
46	特発性拡張型心筋症	89	101	先天性魚鱗癬	2
47	肥大型心筋症	25	102	家族性良性慢性天疱瘡	1
48	拘束型心筋症	3	103	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	31
49	再生不良性貧血	41	104	特発性後天性全身性無汗症	8
50	自己免疫性溶血性貧血	1	105	マルファン症候群	7
51	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5	106	ウィルソン病	5
52	特発性血小板減少性紫斑病	24	107	無脾症候群	1
53	血栓性血小板減少性紫斑病	1	108	プラダー・ウィリ症候群	1
54	原発性免疫不全症候群	10	109	22q11.2欠失症候群	1
55	IgA腎症	33	110	修正大血管転位症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	完全大血管転位症	1	166		
112	三尖弁閉鎖症	3	167		
113	ファロー四徴症	2	168		
114	両大血管右室起始症	3	169		
115	アルポート症候群	3	170		
116	一次性ネフローゼ症候群	43	171		
117	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	172		
118	紫斑病性腎炎	4	173		
119	オスラー病	5	174		
120	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	175		
121	副甲状腺機能低下症	4	176		
122	偽性副甲状腺機能低下症	3	177		
123	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	178		
124	フェニルケトン尿症	4	179		
125	尿素サイクル異常症	2	180		
126	原発性高カイロミクロン血症	1	181		
127	脳髄黄色腫症	1	182		
128	家族性地中海熱	4	183		
129	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1	184		
130	慢性再発性多発性骨髄炎	1	185		
131	強直性脊椎炎	45	186		
132	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1	187		
133	骨形成不全症	1	188		
134	軟骨無形成症	1	189		
135	リンパ管腫症/ゴーハム病	1	190		
136	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1	191		
137	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2	192		
138	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	6	193		
139	後天性赤芽球癆	1	194		
140	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1	195		
141	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	196		
142	総排泄腔遺残	2	197		
143	胆道閉鎖症	7	198		
144	IgG4関連疾患	17	199		
145	黄斑ジストロフィー	1	200		
146	好酸球性副鼻腔炎	108	201		
147	進行性ミオクローヌスてんかん	1	202		
148	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	1	203		
149	カルニチン回路異常症	1	204		
150	前眼部形成異常	1	205		
151	無虹彩症	4	206		
152	特発性多中心性キャスルマン病	1	207		
153			208		
154			209		
155			210		
156			211		
157			212		
158			213		
159			214		
160			215		
161			216		
162			217		
163			218		
164			219		
165			220		

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	152
合計患者数(人)	3,520

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療感染対策加算4	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・後発医薬品使用体制加算2
・特定機能病院入院基本料	・バイオ後続品使用体制加算
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・診療録管理体制加算2	・データ提出加算
・医師事務作業補助体制加算2	・入退院支援加算
・急性期看護補助体制加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護職員夜間配置加算	・精神疾患診療体制加算
・看護補助加算	・精神科急性期医師配置加算
・療養環境加算	・地域医療体制確保加算
・重症者等療養環境特別加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・無菌治療室管理加算1	・救命救急入院料3
・無菌治療室管理加算2	・特定集中治療室管理料2
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・緩和ケア診療加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・精神科身体合併症管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・小児入院医療管理料2
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・報告書管理体制加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・ニコチン依存症管理料
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・がん治療連携計画策定料
・糖尿病合併症管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料イ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料ロ	・こころの連携指導料(Ⅰ)
・がん患者指導管理料ハ	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・がん患者指導管理料ニ	・薬剤管理指導料
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・医療機器安全管理料2
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・歯科治療時医療管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅患者歯科治療時医療管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・腎代替療法指導管理料	・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
・一般不妊治療管理料	・染色体検査の注2に規定する基準
・生殖補助医療管理料1	・骨髄微小残存病変量測定
・二次性骨折予防継続管理料1	・BRCA1/2遺伝子検査
・二次性骨折予防継続管理料3	・がんゲノムプロファイリング検査
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・外来放射線照射診療料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・連携充実加算	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	・睡眠時歯科筋電図検査
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・画像診断管理加算1
・国際標準検査管理加算	・画像診断管理加算4
・遺伝カウンセリング加算	・歯科画像診断管理加算1
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・歯科画像診断管理加算2
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・CT撮影及びMRI撮影
・胎児心エコー法	・冠動脈CT撮影加算
・ヘッドアップティルト試験	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・長期継続頭蓋内脳波検査	・外傷全身CT加算
・単線維筋電図	・心臓MRI撮影加算
・神経学的検査	・乳房MRI撮影加算
・補聴器適合検査	・小児鎮静下MRI撮影加算
・黄斑局所網膜電図	・頭部MRI撮影加算
・全視野精密網膜電図	・全身MRI撮影加算
・ロービジョン検査判断料	・肝エラストグラフィ加算
・コンタクトレンズ検査料1	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・内服・点滴誘発試験	・外来化学療法加算1
・経頸静脈的肝生検	・無菌製剤処理料
・経気管支凍結生検法	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・口腔細菌定量検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査2のイ	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査	・がん患者リハビリテーション料
・精密触覚機能検査	・リンパ浮腫複合的治療料

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科口腔リハビリテーション料2	・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・経頭蓋磁気刺激療法	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・認知療法・認知行動療法1	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・椎間板内酵素注入療法
・医療保護入院等診療料	・腫瘍脊椎骨全摘術
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・緊急穿頭血腫除去術
・多血小板血漿処置	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・硬膜外自家血注入	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・人工腎臓	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・ストーマ合併症加算	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・手術用顕微鏡加算	・角膜移植術(内皮移植加算)
・口腔粘膜処置	・羊膜移植術
・う蝕菌無痛の窩洞形成加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・光学印象	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・歯科技工加算1及び2	・網膜再建術
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・皮膚移植術(死体)	・人工中耳植込術
・自家脂肪注入	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・耳管用補綴材挿入術
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・内喉頭筋肉注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・補助人工心臓
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・内視鏡下筋層切開術	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・腹腔鏡下肝切除術	・体外式模型人工肺管理料
・生体部分肝移植術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・同種死体肝移植術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・輸血管理料 I
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・輸血適正使用加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・同種死体腎移植術	・歯周組織再生誘導手術
・生体腎移植術	・手術時歯根面レーザー応用加算
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・歯根端切除手術の注3
・尿道狭窄グラフト再建術	・レーザー機器加算
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・麻酔管理料(I)
・精巣温存手術	・麻酔管理料(II)
・精巣内精子採取術	・歯科麻酔管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・外来放射線治療加算





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	17	
剖検の状況	剖検症例数(例)	13
	剖検率(%)	3.11%

(注) 1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こと。  
(注) 2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(JST)病態層モデルの妥当性検討および臨床への応用	小野寺 理	脳神経内科	2,600,000	補 委 国立研究開発法人科学技術振興機構
末梢血単核球を用いた脳内神経再生	金澤 雅人	脳神経内科	3,000,000	補 委 新潟県
AIによる水俣病、緑内障患者のquality of vision(QOV)スコア予測モデルの検討	福地 健郎	眼科	3,000,000	補 委 新潟県
①基礎研究:聴覚伝導路を用いた感覚代行システムの開発と平衡リハビリトレーニングプログラムの構築 ②臨床研究:慢性めまい患者における姿勢制御機構の解明	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,000,000	補 委 新潟県
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	吉原 弘祐	産科婦人科	972,000	補 委 新潟県
(AMED)TDP-43のエキソロンに注目した、その発現・凝集制御による、筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	須貝 章弘	脳神経内科	6,500,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)TDP-43のエキソロンに注目した、その発現・凝集制御による、筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	須貝 章弘	脳神経内科	1,950,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)血清エクソソーム内細菌・真菌成分のアレルギー疾患発症への関与の解明	阿部 理一郎	皮膚科	19,500,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)HTRA1関連脳小血管病における血管反応性異常の非侵襲的検出方法の開発	小野寺 理	脳神経内科	19,500,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症を対象とした多施設共同前向きコホート研究による質の高い診療エビデンスの構築	池内 健	脳神経内科	13,000,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)認知症疾患コホートを活用したゲノム統合解析による認知症層別化と脳内病態メカニズムの解明	池内 健	脳神経内科	91,000,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)培養自家骨膜細胞移植による広範囲顎骨再建の第I相医師主導治験	永田 昌毅	高度医療開発センター	81,117,062	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)ステロイド全身療法により効果不十分であったステイヴンス・ジョンソン症候群(SJS)及び中毒性表皮壊死症(TEN)患者を対象とするエタネルセプト療法	阿部 理一郎	皮膚科	39,000,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)薬剤性間質性肺炎および重症薬疹の新規診断バイオマーカーの適格性確認に関する研究	阿部 理一郎	皮膚科	3,900,000	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(JST)脳老化可視化技術の開発と脳機能リザーブ本態の解明	島田 斉	臨床機能脳神経学分野	8,489,000	補 委 国立研究開発法人科学技術振興機構

(JST)3次元分子病理学による子宮内膜関連疾患の病態解明	吉原 弘祐	産科婦人科	11,050,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
(AMED)「肺非結核性抗酸菌症に対する GM-CSF吸入療法」の開発に向けた特定臨床研究	菊地 利明	呼吸器・感染症内科・心療内科	38,350,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)子宮内膜ゲノム情報に基づいた子宮内膜症の病態解明と発症予測モデルの開発	吉原 弘祐	産科婦人科	15,600,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)肝硬変症に対するリハビリテーション医療の確立、筋肉再生—肝臓修復機構の解析を通じた新たなバイオマーカーの探索	寺井 崇二	消化器内科	23,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	茂呂 寛	感染管理部	585,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)スティーヴンス・ジョンソン症候群および中毒性表皮壊死症の新規重症度予測スコアの開発とガイドラインへの反映	濱 菜摘	臨床機能脳神経学分野	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)疾患修飾薬の実用化を見据えた認知症性疾患の標準的診断法の標準化と普及を目指す研究	池内 健	脳神経内科	7,800,000	補 委	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
(J-DREAMS)電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	富原 圭	顎顔面口腔外科	2,400,000	補 委	新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	200,000	補 委	新潟県
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	25,540,000	補 委	新潟県
HIV感染者等の長期療養体制構築に向けた調査研究	茂呂 寛	感染管理部	35,766,000	補 委	新潟県
(AMED)再生医療等安全性確保法に従い実施される再生医療等臨床研究および再生医療等製品等の開発を目指す医師主導治験等を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの実現	寺井 崇二	消化器内科	4,420,000	補 委	一般社団法人日本再生医療学会
(AMED)未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)):希少未診断に対する診断プログラムの開発に関する研究	池内 健	脳神経内科	5,200,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
(AMED)卵巣がんに対するゲノム医療の実装と新規治療戦略構築のための全ゲノムおよびオミックス解析	吉原 弘祐	産科婦人科	650,000	補 委	公益財団法人がん研究会
(AMED)組織球症に続発する中枢神経変性症の診断・治療エビデンスの創出	小野寺 理	脳神経内科	260,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター

(AMED)運動失調症の治療法開発を見据えた病型別前向き自然歴・バイオマーカーの確立	小野寺 理	脳神経内科	650,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
(AMED)疾患修飾薬の実用化を見据えた認知症疾患の標準的診断法の標準化と普及を目指す研究(調整費)	池内 健	脳神経内科	101,899,200	補 委	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
医師主導治験 AMCAD 試験の体制整備事業(AMCAD試験:患者リクルート)	小野寺 理	脳神経内科	900,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
(AMED)認知症の発症に関わるアストロサイト機能不全分子の同定とメカニズムの解明	清水 宏	病理学分野	2,600,000	補 委	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
魚沼市におけるデータを活用したフレイル予防モデル事業の分析	加藤 公則	生活習慣病予防・健診医学講座	800,000	補 委	新潟県
マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析	吉羽永子	歯の診療科	3,400,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
早産児の消化管成熟に向けた治療戦略:肺サーファクタントと胎脂の生理活性に着目して	西島浩二	総合周産期母子医療センター	4,500,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症における耐糖能異常の多遺伝子リスクスコアモデル作成とその臨床応用	小野信	精神科	2,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
中枢性甲状腺機能低下に対する遊離T4スクリーニングの有用性の検討	長崎啓祐	小児科	2,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心不全による進行性うっ血性肝不全を制御する細胞外小胞の解明	上村博輝	消化器内科	1,700,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
メガリンを介する薬剤性腎障害治療戦略及び尿管障害の新規検査法開発に関する研究	青木信将	呼吸器・感染症内科	800,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
BRAF変異陽性の腸癌における分子病理学的特徴を加味した新しい分類法の確立	中野麻恵	がんゲノム医療センター	1,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷後疼痛に対するイバプラジンの新規鎮痛薬としての有効性と作用機序の解明	山本知裕	総合周産期母子医療センター	1,900,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脳波ウェーブレット変換と深層学習による蘇生後脳障害の評価法の開発	本田博之	集中治療部	1,400,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
異常神経回路形成に着目した薬剤耐性難治性てんかん治療法の開発	岡田正康	脳神経外科	1,500,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
3次元がん幹細胞培養系を用いた卵巣がん幹細胞のプラチナ抵抗性獲得機序の解明	山脇芳	総合周産期母子医療センター	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
持続性知覚性姿勢誘発めまいの臨床検査体制の確立	八木千裕	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,700,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
食生活の変容が認知機能に与える影響	長谷川陽子	義歯診療科	800,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
抗酸化物質による移植細胞の長期生存、長期機能発現を可能にする新規骨増生法の開発	秋葉奈美	冠・ブリッジ診療科	1,700,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

チタン結晶構造制御とVUV照射による骨結合促進可能なインプラント表面開発	江口香里	冠・ブリッジ診療科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性疼痛における過分極活性化サイクリックヌクレオチド依存チャネルの機能検索	山本徹	歯科麻酔科	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節による歯髄再生療法の開発	大島邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯の線量に着目した放射線う蝕のリスク因子解析およびリスク予測モデルの確立	勝良剛詞	歯科放射線科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん薬物療法を受ける患者の口腔環境、口腔細菌叢とQOLの関連性の解明	新美奏恵	患者総合サポートセンター	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
地域住民における農作業や除雪作業が心身の健康に与える影響:10年間の追跡	田中純太	魚沼地域医療教育センター(総合診療科)	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ブラスリートの解析から見たPRP療法への応答性を決定する品質の探索:予知性向上へ	望月友晴	整形外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Tacit Mannersの解明がもたらす技能教育の効率化	都野さやか	歯科総合診療科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ビッグデータを用いた糖尿病薬の服薬アドヒアランスの把握による新たな治療戦略の構築	矢口雄大	内分泌・代謝内科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KRAS遺伝子変異肺癌における糖代謝を標的とした癌免疫療法の開発	才田優	呼吸器・感染症内科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄性造血器腫瘍患者におけるWT1特異的CD8陽性細胞障害性T細胞の獲得条件の検討	布施香子	輸血・再生・細胞治療センター	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血中セロトニン濃度の変動が肝病態形成と回復に与える詳細なメカニズムの検討	薛徹	消化器内科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
近赤外線自家蛍光法による不安定プラークの診断および治療法の開発	池上龍太郎	循環器内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期再分極に伴う迷走神経緊張を介した心房性不整脈発症機序の解明と治療戦略の構築	長谷川祐紀	第一内科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
呼吸器マイクロバイオームの動態に着目した歯周病によるCOPD増悪メカニズムの解明	保莉崇大	歯周病科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症薬疹の病態解明と新規バイオマーカーの開発	長谷川瑛人	皮膚科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性角化症の新規原因遺伝子同定と新規治療法開発	林良太	皮膚科	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
組織透明化/3次元イメージングCUBICによる抗酸菌感染の生体内モニタリング	袴田真理子	呼吸器・感染症内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オピオイド因性痛覚過敏におけるPDL-1の関与の検証	松田敬一郎	麻酔科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
滑膜肉腫に対するDual Targeting CAR-T細胞療法の新規開発	村山雄大	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

緑内障患者の視覚的QOL推定モデルの構築	飯川龍	眼科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
若年性口腔扁平上皮癌組織のmRNAシーケンシングによるドライバー遺伝子の探索	隅田賢正	顎顔面口腔外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯肉上皮細胞由来エクソソームを介した歯周炎制御機構の解明	峯尾修平	歯周病科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
磁気ビーズによる口腔ピロリ菌の検出と乳酸菌、多価不飽和脂肪酸による感染予防の検索	永田量子	歯の診療科	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
唾液エクソソームを応用した新規miRNAによる歯周病進行リスク診断	佐藤圭祐	歯周病科	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アトピー性皮膚炎悪化に対する歯科金属アレルギーの関連機序解明	高岡由梨那	総合臨床研修センター	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
物性の異なる食品咀嚼時の舌運動	兒玉匠平	義歯診療科	2,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼行動は筋肉量、栄養に関係するか？-自立高齢者における咀嚼、栄養、筋肉量の関連-	吉村将悟	義歯診療科	2,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内因性カンナビノイド機構によるグリア機能の調節が関わる痛みの脳内制御機構の解明	上村藍太郎	矯正歯科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線性う蝕の発生リスク因子の特定と適正な歯科管理方法の構築	曾我麻里恵	医療連携口腔管理治療部	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アーチファクトを低減した口腔内超音波走査用音響カップリング材の開発	小林太一	歯科放射線科	2,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築と新規治療標的の探索	羽賀健太	口腔再建外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
力学的刺激により歯根膜全域に誘導される増殖期細胞は幹細胞か	水越優	矯正歯科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者に対するモバイル端末のテキストメッセージを活用した口腔衛生指導の有効性検証	星野剛志	予防歯科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
モーションキャプチャ・システムを用いた歯科臨床教育の検討	中村太	総合臨床研修センター	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔内所見を用いた転倒リスク予測システムの構築	渡辺真光	予防歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
性差を考慮した脂肪肝スクリーニング手法の確立と脂肪肝関連合併症リスクモデルの構築	松林泰弘	内分泌・代謝内科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明	大倉直人	歯の診療科	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規リン代謝マーカー:ポリリン酸と腎臓病で増悪する感染症の関連	山本卓	腎・膠原病内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
安全で有効かつ、いつでも誰でも使えるCAR-NK細胞療法の新規開発	今村勝	小児科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

ALSのTDP-43病理多型を規定する遺伝的因子の探索	石原智彦	脳神経内科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外小胞の臓器特異性に着目した視神経脊髄炎関連疾患の再発予測の確立	佐治越爾	神経内科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多系統萎縮症の3つの病態を反映し、早期診断を可能とするバイオマーカーの検討と確立	徳武孝允	神経内科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ステロイドホルモンならびにペプチドホルモンによるうつ病難治化機序の解明	鈴木雄太郎	精神科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線治療における不確かさ要因を考慮した高精度線量評価システムの開発	棚邊哲史	放射線治療科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子導入によるラット胆管癌モデルの確立と浸潤能評価による病態マーカー開発	五十嵐聡	光学医療診療部(消化器内科)	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HGDラット膵癌モデルのエクソソームプロテオーム解析による膵癌バイオマーカー研究	林和直	消化器内科	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
致命的合併症であるIFALD予防を網羅した短腸症候群に対する新規細胞治療の確立	高橋良彰	小児外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
直腸癌化学放射線療法後の臨床的完全奏効に対する新規サーベイランス方法の確立	島田能史	消化器・一般外科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変異シグネチャー解析による固形癌の塩基置換パターン分類の確立及び臨床的意義の解明	廣瀬雄己	第一外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
良悪性中間群骨軟部腫瘍における免疫環境の解析と新規治療法の開発	生越章	魚沼地域医療教育センター準備室(整形外科)	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児腰痛の心理社会的要因および生活の質との関連性に関する研究	平野徹	魚沼地域医療教育センター	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節内の細胞外小胞体による局所恒常性維持の機序解明	目良恒	魚沼地域医療教育センター(整形外科)	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ABO血液型不適合腎移植における糖鎖アレイを用いた新規血液型抗体測定法の臨床応用	田崎正行	泌尿器科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん幹細胞と微小環境の相互作用を標的とした婦人科悪性腫瘍の新規治療法の探索	石黒竜也	産科婦人科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎による関節リウマチ発症・悪化機序の解明ー自己抗体の機能的糖鎖修飾の関与ー	小林哲夫	歯科総合診療科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発	秋葉陽介	義歯(冠・ブリッジ)診療室	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外基質環境下における腫瘍特異的なCD73誘導低酸素応答性増殖機構の解明	丸山智	病理部(歯科担当)・歯科病理検査室	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ダイヤモンド電極法を用いた血中薬物濃度測定に基づくパゾパニブ服用患者の観察研究	齋木琢郎	腫瘍内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
不均一性の強い胃癌のHER2関連遺伝子異常を高精度に同定可能とする人工知能の開発	臼井賢司	消化器外科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会



トランスオミクス解析によるがん細胞の放射線耐性応答ネットワーク解明	金光祥臣	臨床研究推進センター	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
経年変化とT波形評価に注目した成長期QT延長症候群の新たな診断基準の確立	鈴木博	小児科	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌における変異シグネチャー解析の臨床病理学的意義の解明	土田純子	腫瘍センター	250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌の変異シグネチャーを予測するRadiogenomics解析法の確立	松本瑛生	消化器外科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PTEN遺伝子変異による上皮間葉移行に着目した大腸癌の簇出・低分化胞巣の機序解明	田島陽介	消化器外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌術前化学療法の治療効果予測を目指したNQO1遺伝子多型の臨床的意義の解明	石川卓	医療情報部	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌ゲノムデータを基にした免疫チェックポイント阻害剤治療効果関連因子の包括的評価	羽入隆晃	第一外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Radiogenomicsによる直腸癌側方リンパ節転移の高精度予測モデルの開発	中野雅人	第一外科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージング法を用いた複合性局所疼痛症候群の脊髄機序の解明	渡部達範	麻酔科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷後疼痛における脊髄のシナプス可塑性変化の病態解明	大橋宣子	麻酔科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎癌オルガノイドによる治療薬選択最適化およびバイオマーカー探索の研究	富田善彦	泌尿器科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血小板とリンパ管内皮細胞の相互作用を標的にした新たなリンパ浮腫治療の開発	植木春香	形成外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マウス末梢神経損傷・再建術モデルを用いた機能回復機序の解明	若槻華子	形成外科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
培養骨膜細胞の機能性移植基材としてのRGDペプチドおよびDBMの有効性解析	永田昌毅	高度医療開発センター	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌機能改善プロセスから考える感覚運動統合 -アクティブタッチの探索-	真柄仁	摂食嚥下機能回復部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インプラント補綴後のインフラオクルージョンの機序の解明とリスク評価法の開発	荒井良明	顎口腔インプラント治療部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シグナル抑制機構から解明するシュワン細胞機能の調節メカニズム	佐藤由美子	言語治療室	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAFs)のTGF-βシグナルの解明	船山昭典	口腔再建外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エクオールは口腔乾燥症、味覚障害、舌痛症の新たな治療法となりうるか？	伊藤加代子	口腔リハビリテーション科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔細菌叢のメタゲノム解析による口臭症の病態解明	金子昇	予防歯科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

副甲状腺の自家蛍光を利用した探索システムの開発	高橋剛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自家培養骨膜を用いた骨欠損、骨露出部の治療戦略に関する基礎研究	浅倉辰則	形成・美容外科	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科治療におけるinvisible technical tipsの科学的分析	佐藤拓実	歯周病科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
単球の化学的分化転換を利用した生体内神経再生療法の確立	二宮格	脳神経内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
転移性脳腫瘍放射線治療後の認知機能予測指標の開発	中野智成	放射線診断科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PNPLA4機能不全がもたらすミトコンドリア異常症及び乳児突然死の発症機序解明	入月浩美	小児科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝線維化・再生における肝細胞間密着接合の変化とその意義の解明	阿部寛幸	消化器内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TTF-1の網羅的エピゲノム解析に基づくEGFR-TKI耐性獲得機序の解明	穂苅諭	呼吸器・感染症内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗CD38抗体でのマクロファージ活性抑制を介した半月体形成系球体腎炎の治療	大塚忠司	腎・膠原病内科学分野	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
右室心筋におけるヒストン修飾因子「SF3B1」の発現傾向と心不全の可逆性	杉本愛	呼吸器外科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
XCL1発現に着目した卵巣成熟嚢胞性奇形腫悪性転化症例に対する新規治療戦略の構築	田村亮	産科婦人科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
組織選択的統合オミックス解析による子宮内膜症関連卵巣癌の病態解明と新規治療開発	須田一暁	総合周産期母子医療センター	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SiC長繊維と短繊維を組み合わせた力学的等方性を持つ新規繊維強化型レジンの開発	高昇将	予防歯科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
疾患モデル動物を用いた「サルコペニアの摂食嚥下障害」の生理学的検証	那小屋公太	摂食嚥下機能回復部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食後血糖値に対する咀嚼回数、唾液量およびアミラーゼ活性の影響	上原文子	義歯診療科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ラット下顎骨延長モデルを用いた進行性下顎頭吸収の予防・治療法の検討	須田大亮	口腔再建外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢組織損傷部位のスフィンゴシン1リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか	金丸博子(塚田博子)	歯科麻酔科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波エラストグラフィとドプラ画像による舌癌進展範囲の評価法の確立	新垣元基	顎顔面口腔外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔機能発達不全の“定量化”:エラストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立	高橋功次朗	矯正歯科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
わが国におけるドラッグラグの現状と課題	田中基嗣	臨床研究推進センター	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

TDP-43の伝播仮説の包括的検証—上位運動神経から筋肉までの順行・逆行経路—	坪口晋太郎	脳神経内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
タウオパチー細胞モデルを用いた異なるタウ分子種間における細胞間伝播の検討	石黒敬信	脳神経内科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血中エクソソームを用いた肝細胞癌化学療法の新たなバイオマーカー、治療法の開発	酒井規裕	消化器内科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内視鏡治療後食道狭窄におけるステロイド徐放性組織接着型ハイドロゲルの有用性検証	中島尚	消化器内科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆汁性硬化性胆管炎における制御性T細胞を介した病態制御機構の解明と治療方法の確立	木村成宏	消化器内科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PET-CTを用いた扁桃体活性の評価による致死性不整脈のリスク評価と予防法の解明	大槻総	循環器内科	310,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エピゲノム解析によるIgA腎症の病態メカニズムの解明	渡辺博文	腎・膠原病内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腹膜播種陽性胃癌の根治切除を目指した化学療法著効例の背景にある遺伝子異常の解明	加納陽介	光学医療診療部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロポフォールの麻酔作用メカニズムの解明: 青斑核からの電気生理学的検討	清野豊	手術部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NOとTRPM2受容体に着目した神経障害性疼痛初期の病態解明	大西毅	麻酔科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄後角ニューロンにおけるレミゾラムの鎮痛効果およびその作用機序の解明	出口浩之	麻酔科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
局所陰圧閉鎖療法を用いた手術部位感染予防における治療指標の探索	佐藤洋	魚沼地域医療教育センター	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性髄膜腫に対するSSTR2aを標的とした近赤外光線免疫療法の開発	小倉良介	脳神経外科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
化学療法感受性規定因子SLFN11制御による膠芽腫新規治療法の開発	塚本佳広	脳神経外科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊柱靭帯骨化症の骨化進展メカニズムと進展抑制に関する解析	勝見敬一	整形外科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内膜症におけるKRAS変異の生物学的意義の解明	谷地田希	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
サイクリン依存性キナーゼ阻害に着目したPLOC2抑制による新規頭頸部癌治療開発	植木雄志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IgG4関連眼疾患と眼窩MALTリンパ腫合併例の遺伝子および病理学的特徴の解析	大湊絢	手術部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光干渉断層血管造影を用いた虹彩新生血管の評価法開発と血管新生緑内障治療への応用	寺島浩子	眼科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
天然由来の菌特異的抗菌物質の応用による次世代型口腔ケアアプリケーションの開発	松岸葵	歯周病科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

新規足場材と培養骨膜細胞の併用による低侵襲かつ高効率な歯槽骨再生療法の開発	都野隆博	高度医療開発センター	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
培養骨膜シートの厚さと骨分化能の相関解析による非侵襲的骨膜シート品質管理法の確立	千川絵美	歯周病科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ウェアラブルデバイスによる要介護高齢者の食事見守り	村上瞳(戸川瞳)	義歯診療科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔感覚入力が咀嚼特性と嚥下動態に及ぼす変調効果の解明	鈴木拓	口腔リハビリテーション科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顔面形成における細胞増殖活性の制御機構の解明	永井孝宏	総合臨床研修センター	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌乳頭発生における包括的制御機構の解明	藤田瑛	矯正歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口蓋裂一鼻部異常の発症メカニズムの解明	市川佳弥	矯正歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エナメル形成におけるライオンゼーションの解明	工藤武久	矯正歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術後呼吸器合併症予防のための包括的周術期呼吸ケア体制の確立	鈴木涼子	呼吸器・感染症内科	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
角膜疾患治療に用いる口腔粘膜上皮細胞シートの特性解析と品質評価への応用展開	上野山敦士	顎顔面口腔外科	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
コストダウンと高機能化により費用対効果を向上させた新規培養真皮の開発	羽賀健太	口腔再建外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
軟部肉腫におけるNK細胞療法の開発	大池直樹	整形外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
白質脳症をきたす変異型TREX1によるDNA損傷毒性誘導機序とその抑制分子の解明	安藤昭一郎	脳神経内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
近赤外線自家蛍光粒子に着目した動脈硬化プラークの質的診断法および治療法の開発	池上龍太郎	循環器内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血漿中抗Porphyromonas gingivalis抗体価は高血圧症の予測因子となりうるか？	星野剛志	予防歯科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼行動は肥満発症と関連するか？一レトロスペクティブスタディー	堀頌子	義歯診療科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元腸管オルガノイドを用いた歯周病原細菌一腸管上皮相互作用の解明	峯尾修平	歯周病科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食事エネルギー密度を活用した新たな糖尿病栄養指導法の創出	武田安永	栄養管理部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミクログリアのRNA代謝調節による中枢神経恒常性維持と神経修復機構の解析	川井洋輔	高次救命災害治療センター	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
複合センサを用いた口腔内圧のコントロールと口唇の発達変化の解明	朴沢美生	小児歯科・障がい者歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

骨格筋芽細胞層と結合組織をハイブリッドしたヒト赤唇3次元in vitroモデルの開発	小林亮太	顎顔面口腔外科	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Wnt/ $\beta$ -cateninシグナルによるセメント質再生と歯根膜インプラントの開発	小野喜樹	冠・ブリッジ診療科	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

計192

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yoneyama, S ; Kubota, N ; Ozaki, K ; et al.	循環器内科	Angioscopic Findings of Calcification in Saphenous Vein Graft	CIRC J.2023 NOV;87・11:1705-1705	Others
2	Hasegawa, Y ; Okada, S ; Sanada, A ; et al.	循環器内科	The Atrial Natriuretic Peptide-to-brain Natriuretic Peptide Ratio Predicts Left Atrial Reverse Remodeling after Rhythm Control Therapy in Patients with Persistent Atrial Fibrillation	INTERNAL MED.2023;62・22:3283-3290	Original Article
3	Sakaguchi, Y ; Izumi, D ; Wada, R ; et al.	循環器内科	Predictors of long-term survival in Japanese patients with heart failure with reduced ejection fraction (HFrEF) treated with cardiac resynchronization therapy-defibrillators (CRT-D)	PACE.2023 DEC;46・12:1484-1490	Original Article
4	Yoneyama, S ; Ozaki, K ; Kubota, N ; et al.	循環器内科	Angioscopic Finding of Honeycomb-Like Structure in Coronary Artery Disease	CIRC J.2023 JUN;87・6:852-852	Others
5	Akiyama, T ; Ozaki, K ; Takano, T ; et al.	循環器内科	Efficacy of Proprotein Convertase Subtilisin/Kexin Type 9 Inhibitor Treatment for Repeated In-stent Restenosis in a Coronary Artery	INTERNAL MED.2023;62・22:3361-3365	Original Article

6	Kase, M ; Fujiki, S ; Kashimura, T ; et al.	循環器内科	Relationship Between Medical Therapy, Long-Term Care Insurance, and Comorbidity in Elderly Patients With Heart Failure With Systolic Dysfunction	CIRC J.2023 AUG;87• 8:1130-+	Original Article
7	Kashimura, T ; Ishizuka, M ; Tanaka, K ; et al.	循環器内科	Successful $\beta$ -blocker introduction under intra-aortic balloon pumping and ivabradine in a patient with new-onset dilated cardiomyopathy and pulsus alternans: a case report	EUR HEART J-CASE REP.2023 DEC 21;8• 1:ytad620	Case Report
8	Fujihara, K ; Khin, L ; Murai, K ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Incidence and predictors of remission and relapse of type 2 diabetes mellitus in Japan: Analysis of a nationwide patient registry	DIABETES OBES METAB.2023 AUG;25• 8:2227-2235	Original Article
9	Fujihara, K ; Sone, H	血液・内分泌・代謝内科	Machine Learning Approach to Drug Treatment Strategy for Diabetes Care	DIABETES METAB J.2023 MAY;47•3:325-332	Review
10	Kodama, S ; Fujihara, K ; Ishiguro, H ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Network meta-analysis of glucose-lowering drug treatment regimens with the potential risk of hypoglycemia in patients with type 2 diabetes mellitus in terms of glycemic control and severe hypoglycemia	J INVEST MED.2023 APR;71•4:400-410	Review

11	Fujihara, K ; Khin, L ; Murai, K ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Relationship between the magnitude of body mass index reductions and remission in patients with type 2 diabetes in real world settings: Analysis of nationwide patient registry in Japan (JDDM74)	DIABETES OBES METAB.2023 NOV;25・11:3125-3135	Original Article
12	Kodera, R ; Fujihara, K ; Koyama, T ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Impact of a history of cardiovascular disease and physical activity habits on the incidence of functional disability	SCI REP-UK.2023 NOV 27;13・1:20793	Original Article
13	Ikeda, I ; Fujihara, K ; Osawa, T ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Retrospective cohort study to examine the association between serum amylase and the incidence of type 2 diabetes mellitus, Toranomon Hospital Health Management Center Study 23 (TOPICS 23)	BMJ OPEN DIAB RES CA.2023 JUL;11・4:e003482	Original Article
14	Kurayoshi, K ; Takase, Y ; Ueno, M ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Targeting cis-regulatory elements of FOXO family is a novel therapeutic strategy for induction of leukemia cell differentiation	CELL DEATH DIS.2023 SEP 29;14・9:642	Original Article
15	Kitazawa, M ; Takeda, Y ; Hatta, M ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Lifestyle Intervention With Smartphone App and isCGM for People at High Risk of Type 2 Diabetes: Randomized Trial	J CLIN ENDOCR METAB.2024 MAR 15;109・4:1060-1070	Original Article



16	Takizawa, J ; Suzuki, R ; Izutsu, K ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Characteristics of chronic lymphocytic leukemia in Japan: Comprehensive analysis of the CLLRSG-01 study	INT J HEMATOL.2024 2024 MAR 16:	Others
17	Fujihara, K ; Harada, MY ; Horikawa, C ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Machine learning approach to predict body weight in adults	FRONT PUBLIC HEALTH.2023 JUN 15;11:1090146	Original Article
18	Suwabe, T ; Shibasaki, Y ; Tamura, S ; et al.	血液・内分泌・代謝内科	Decade-long WT1-specific CTLs induced by WT1 peptide vaccination	INT J HEMATOL.2024 APR;119・4:399-406	Original Article
19	Wakasugi, M ; Yokoseki, A ; Wada, M ; et al.	腎・膠原病内科	Vegetable and Fruit Intake Frequency and Mortality in Patients With and Without Chronic Kidney Disease: A Hospital-Based Cohort Study	J RENAL NUTR.2023 JUL;33・4:	Original Article
20	Nakagawa, Y ; Kaseda, R ; Suzuki, Y ; et al.	腎・膠原病内科	Sodium Magnetic Resonance Imaging Shows Impairment of the Counter-current Multiplication System in Diabetic Mice Kidney	KIDNEY360.2023 MAY;4・ 5:582-590	Original Article

21	Wakasugi, M ; Narita, I	腎・膠原病内科	Birth cohort effects in incident renal replacement therapy in Japan, 1982-2021	CLIN EXP NEPHROL.2023 AUG;27・8:707-714	Original Article
22	Goto, S ; Yoshida, Y ; Hosojima, M ; et al.	腎・膠原病内科	Megalyn is involved in angiotensinogen- induced, angiotensin II-mediated ERK1/2 signaling to activate Na <sup>+</sup> -H <sup>+</sup> exchanger 3 in proximal tubules	J HYPERTENS.2023 NOV;41・11:1831-1843	Original Article
23	Shirai, N ; Yamamoto, S ; Osawa, Y ; et al.	腎・膠原病内科	Low muscle strength and physical function contribute to falls in hemodialysis patients, but not muscle mass	CLIN EXP NEPHROL.2024 JAN;28・1:67-74	Original Article
24	Tsuchida, M ; Goto, S ; Watanabe, H ; et al.	腎・膠原病内科	Defective C3d caused by C3 p.W1034R in inherited atypical hemolytic uremic syndrome	MOL GENET GENOM MED.2024 JAN;12・1:	Original Article
25	Tsuchida, Y ; Tsubata, Y ; Nozawa, R ; et al.	腎・膠原病内科	Fatal acute portal vein thrombosis associated with hepatic cysts in a patient with autosomal dominant polycystic kidney disease	GEN CASE REP.2024 FEB;13・1:32-36	Original Article

26	Yoshida, S ; Yamamoto, S ; Miyachi, D ; et al.	腎・膠原病内科	Removal of $\alpha$ 1-Microglobulin Using Post-Dilution Online Hemodiafiltration with Polymethylmethacrylate Membrane: An Open-Label, Single-Arm Study	BLOOD PURIFICAT.2024 FEB;53・2:123-129	Original Article
27	Kabasawa, H ; Hosojima, M ; Narita, I ;	腎・膠原病内科	Questionnaire survey of the frequency of dietary intake during hemodialysis and the impact of COVID-19 in Japan	CLIN EXP NEPHROL.2024 MAR;28・3:254-260	Original Article
28	Mitsuboshi, S ; Morizumi, M ; Kotake, K ; et al.	腎・膠原病内科	Urate-Lowering Drugs and Muscle Injury: A Systematic Review and Network Meta-Analysis	J CLIN PHARMACOL.2024 MAR;64・3:288-299	Review
29	Wakasugi, M ; Narita, I	腎・膠原病内科	Higher participation rates for specific health checkups are associated with a lower incidence of treated ESKD in Japan	CLIN EXP NEPHROL.2024 MAR;28・3:201-207	Original Article
30	Habuka, M ; Nishikiori, M ; Oikawa, C ; et al.	腎・膠原病内科	Systemic Amyloid A Amyloidosis Secondary to Xanthogranulomatous Pyelonephritis	INTERNAL MED.2024;63・ 4:593-599	Original Article

31	Kurosawa, Y ; Takamura, S ; Wakamatsu, A ; et al.	腎・膠原病内科	A Case of Adult- Onset Still's Disease With Hypocomplementemi a	CUREUS J MED SCIENCE.2024 JAN 20;16・1:e52605	Case Report
32	Yamamoto, S ; Tanaka, T ; Omori, K ; et al.	腎・膠原病内科	Pruritus and protein- bound uremic toxins in patients undergoing hemodialysis: a cross-sectional study	CLIN KIDNEY J.2024 JAN 4;17・1:	Original Article
33	Moriya, R ; Hokari, S ; Ohshima, Y ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内 科	Continuous positive airway pressure treatment reduces renal tubular damage in patients with obstructive sleep apnea: A retrospective single- center cohort study	SLEEP MED.2023 JUN;106:106-115	Original Article
34	Koya, T ; Asai, K ; Iwanaga, T ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内 科	Characterization of Severe Uncontrolled Asthma in Japan: Analysis of Baseline Data from the PROSPECT Study	J ASTHMA ALLERGY.2023;16:597- 609	Original Article
35	Ui, M ; Hirama, T ; Akiba, M ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内 科	Cellular and humoral immune responses after a third dose of SARS-CoV-2 mRNA vaccine in lung transplant recipients in Japan	VACCINE.2023 JUL 12;41・31:4534-4540	Original Article

36	Sakai, N ; Koya, T ; Murai, Y ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内科	Effect of Benralizumab on Mucus Plugs in Severe Eosinophilic Asthma	INT ARCH ALLERGY IMM.2023 2023 MAY 16:	Others
37	Saida, Y ; Watanabe, S ; Koyama, S ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内科	Editorial: Strategies to overcome tumor evasion and resistance to immunotherapies by targeting immune suppressor cells	FRONT ONCOL.2023 JUL 7;13:1240926	Others
38	Saida, Y ; Watanabe, S ; Kikuchi, T ;	呼吸器・感染症内科/心療内科	Extensive-Stage Small-Cell Lung Cancer: Current Landscape and Future Prospects	ONCOTARGETS THER.2023;16:657-671	Review
39	Ohshima, Y ; Hokari, S ; Nagai, A ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内科	Variation of respiratory and pulse events in multiple system atrophy	PARKINSONISM RELAT D.2023 OCT;115:105817	Original Article
40	Tanaka, T ; Goto, Y ; Horie, M ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内科	Whole Exome Sequencing of Thymoma Patients Exhibiting Exceptional Responses to Pemetrexed Monotherapy	CANCERS.2023 AUG;15 16:4018	Original Article

41	Watanabe, S ; Furuya, N ; Nakamura, A ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内科	A phase II study of atezolizumab with bevacizumab, carboplatin, and paclitaxel for patients with EGFR-mutated NSCLC after TKI treatment failure (NEJ043 study)	EUR J CANCER.2024 JAN;197:113469	Original Article
42	Takenaka, S ; Moro, H ; Shimizu, U ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内科	Preparing of Point-of-Care Reagents for Risk Assessment in the Elderly at Home by a Home-Visit Nurse and Verification of Their Analytical Accuracy	DIAGNOSTICS.2023 JUL;13・14:2407	Original Article
43	Moro, H ; Bamba, Y ; Nagano, K ; et al.	呼吸器・感染症内科/心療内科	Dynamics of iron metabolism in patients with bloodstream infections: a time-course clinical study	SCI REP-UK.2023 NOV 6;13・1:19143	Original Article
44	Watanabe, Y ; Osaki, A ; Yamazaki, S ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Two Cases of Gastric Varices with Left-sided Portal Hypertension Due to Essential Thrombocythemia Treated with Gastric Devascularization or Partial Splenic Embolization	INTERNAL MED.2023;62・ 19:2839-2846	Case Report
45	Watanabe, K ; Kawai, H ; Sato, T ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Endoscopic treatment of Bouveret syndrome with a combination of electrohydraulic lithotripsy and balloon expansion: A case report	DEN OPEN.2023 APR;3・ 1:e232	Case Report

46	Kojima, K ; Natsui, K ; Sato, T ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Duodenal Diverticular Bleeding Treated with Endoscopy or Transcatheter Arterial Embolization: A Report of Two Cases and a Literature Review	INTERNAL MED.2023;62· 24:3565–3569	Review
47	Takahashi, K ; Sato, C ; Mizuno, K ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Pyogenic Granuloma Accompanied by Esophageal Squamous Cell Carcinoma	INTERNAL MED.2023;62· 24:3715–3716	Others
48	Kamimura, K ; Kanefuji, T ; Suda, T ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Liver lobe–specific hydrodynamic gene delivery to baboons: A preclinical trial for hemophilia gene therapy	MOL THER–NUCL ACIDS.2023 JUN 13;32:	Original Article
49	Tanaka, Y ; Kamimura, K ; Shibata, O ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Similarity of oncogenic protein expression in KRASG12D gene delivery– based rat pancreatic cancer model to that of human pancreatic cancer	BIOCHEM BIOPH RES CO.2023 SEP 17;673:29– 35	Original Article
50	Kimura, N ; Takahashi, K ; Setsu, T ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Machine learning prediction model for treatment responders in patients with primary biliary cholangitis	JGH OPEN.2023 JUN;7· 6:431–438	Original Article

51	Wakabayashi, T ; Tominaga, K ; Sakamaki, A ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Portal venous gas caused by barium swallow examination: An extremely rare clinical finding	CLIN CASE REP.2023 JUL;11・7:e7480	Original Article
52	Kamimura, K	消化器内科/肝胆膵内科	Wilson's disease: practical information for general physicians	HEPATOBIL SURG NUTR.2023 AUG 1;12・ 4:598-600	Others
53	Ishii, S ; Abe, H ; Endo, S ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Solid pseudopapillary neoplasm in a woman presenting with acute pancreatitis: a case report and review of literature	CLIN J GASTROENTEROL.2023 DEC;16・6:937-941	Review
54	Kimura, N ; Takahashi, K ; Setsu, T ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Development and validation of machine learning model for predicting treatment responders in patients with primary biliary cholangitis	HEPATOL RES.2024 JAN;54・1:67-77	Original Article
55	Sakai, N ; Kamimura, K ; Terai, S ;	消化器内科/肝胆膵内科	Repurposable Drugs for Immunotherapy and Strategies to Find Candidate Drugs	PHARMACEUTICS.2023 SEP;15・9:2190	Review



56	Takeda, N ; Tsuchiya, A ; Mito, M ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Analysis of distribution, collection, and confirmation of capacity dependency of small extracellular vesicles toward a therapy for liver cirrhosis	INFLAMM REGEN.2023 OCT 9;43・1:48	Original Article
57	Nagayama, I ; Kamimura, K ; Owaki, T ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Complementary role of peripheral and central autonomic nervous system on insulin-like growth factor-1 activation to prevent fatty liver disease	HEPATOL INT.2023 2023 OCT 21:	Others
58	Takahashi, K ; Sato, H ; Shimamura, Y ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Achalasia phenotypes and prediction of peroral endoscopic myotomy outcomes using machine learning	DIGEST ENDOSC.2023 2023 DEC 1:	Others
59	Nagayama, I ; Kamimura, K ; Owaki, T ; et al.	消化器内科/肝胆膵内科	Complementary role of peripheral and central autonomic nervous system on insulin-like growth factor-1 activation to prevent fatty liver disease (vol 18, pg 155, 2024)	HEPATOL INT.2024 2024 MAR 7:	Others
60	Matsumoto, Y ; Higuchi, A ; Shiba, M ; et al.	腫瘍内科	Termination of Palliative Chemotherapy Near the End of Life: A Retrospective Study of Gastrointestinal Cancer Patients	PALLIAT MED REP.2023 JUL 1;4・1:169-174	Original Article

61	Zain, E ; Fukui, N ; Watanabe, Y ; et al.	精神科	High care and low overprotection from both paternal and maternal parents predict a secure attachment style with a partner among perinatal Japanese women	SCI REP-UK.2023 SEP 21;13•1:15684	Original Article
62	Zain, E ; Fukui, N ; Watanabe, Y ; et al.	精神科	The three-factor structure of the Autism-Spectrum Quotient Japanese version in pregnant women	FRONT PSYCHIATRY.2023 OCT 31;14:1275043	Original Article
63	Yoshinaga, K ; Egawa, J ; Watanabe, Y ; et al.	精神科	Usefulness of the autism spectrum quotient (AQ) in screening for autism spectrum disorder and social communication disorder	BMC PSYCHIATRY.2023 NOV 13;23•1:831	Original Article
64	Fitrah, YA ; Higuchi, Y ; Hara, N ; et al.	精神科	Heterogenous Genetic, Clinical, and Imaging Features in Patients with Neuronal Intranuclear Inclusion Disease Carrying NOTCH2NLC Repeat Expansion	BRAIN SCI.2023 JUN;13•6:955	Original Article
65	Arinami, H ; Suzuki, Y ; Watanabe, Y ; et al.	精神科	Association between insulin resistance and serum insulin-like growth factor 1 levels in patients with non-remitting major depressive disorder	J AFFECT DISORDERS.2024 JAN 1;344:612-616	Original Article

66	Imai, C ; Sato, A ; Hiwatari, M ; et al.	小児科	Outcomes following induction failure in Japanese children with acute lymphoblastic leukemia	INT J HEMATOL.2023 JUL;118•1:99–106	Original Article
67	Onuki, T ; Hiroshima, S ; Sawano, K ; et al.	小児科	A Study of Maternal Patients Diagnosed with Inborn Errors of Metabolism Due to Positive Newborn Mass Screening in Their Newborns	CHILDREN-BASEL.2023 AUG;10•8:1341	Original Article
68	Ikuse, T ; Aizawa, Y ; Hasegawa, S ; et al.	小児科	Incidence of Omicron Variant Reinfection and Reduction of Reinfection Risk After Coronavirus Disease 2019 Vaccination in Children	J PEDIAT INF DIS SOC.2023 DEC 16;12•12:634–637	Original Article
69	Ugai, S ; Ugai, T ; Kanayama, T ; et al.	小児科	Mumps vaccine hesitancy: Current evidence and an evidence-based campaign in Japan	VACCINE.2023 SEP 22;41•41:6036–6041	Original Article
70	Inaba, S ; Aizawa, Y ; Kataoka, S ; et al.	小児科	Purulent nasal discharge due to gonococcal nasopharyngitis in a neonate	J INFECT CHEMOTHER.2023 DEC;29•12:1164–1166	Original Article

71	Ikuse, T ; Aizawa, Y ; Yamanaka, T ; et al.	小児科	Comparison of Clinical Characteristics of Children Infected With Coronavirus Disease 2019 Between Omicron Variant BA.5 and BA.1/BA.2 in Japan	PEDIATR INFECT DIS J.2023 JUN;42•6:503–509	Original Article
72	Aizawa, Y ; Ikuse, T ; Izumita, R ; et al.	小児科	Human Rhinovirus as a Cause of Fever in Neonates and Young Infants During the COVID–19 Pandemic, 2020–2022	PEDIATR INFECT DIS J.2024 FEB;43•2:130–135	Original Article
73	Fuse, T ; Aizawa, Y ; Nyuzuki, H ; et al.	小児科	Hypocarnitinemia in twins after maternal pivalate–conjugated antibiotic therapy	PEDIATR INT.2024 JAN;66•1:e15750	Original Article
74	Aizawa, Y ; Saeki, K ; Mori, K ; et al.	小児科	An outbreak investigation of parechovirus–A3 in a newborn nursery	INFECT CONT HOSP EP.2024 JAN;45•1:63–67	Original Article
75	Kodera, K ; Hishida, R ; Sakai, A ; et al.	小児科	GPATCH4 contributes to nucleolus morphology and its dysfunction impairs cell viability	BIOCHEM BIOPH RES CO.2024 JAN 22;693:149384	Original Article

76	Shibata, N ; Numakura, C ; Hamajima, T ; et al.	小児科	Clinical and molecular analyses of isolated central congenital hypothyroidism based on a survey conducted in Japan	ENDOCR J.2024 2024 MAR 8:	Others
77	Kobayashi, A ; Ito, M ; Ota, E ; et al.	小児科	School-Age Outcomes of Antenatal Magnesium Sulphate in Preterm Infants	CHILDREN-BASEL.2023 AUG;10•8:1324	Review
78	Nirei, J ; Kobayashi, A ; Habuka, R ; et al.	小児科	Cord blood granulocyte Colony- Stimulating factor level as an optimal predictor of umbilical cord arteritis associated with brain injury at term equivalent age in preterm neonates	CYTOKINE.2023 NOV;171:156369	Original Article
79	Nyuzuki, H ; Ozawa, J ; Nagasaki, K ; et al.	小児科	A severe case of cardiospondylocarpof acial syndrome with a novel MAP3K7 variant	HUM GENOME VAR.2024 FEB 22;11•1:8	Case Report
80	Tachikawa, J ; Aizawa, Y ; Saitoh, A ;	小児科	Severe Disease in Children with Parechovirus-A Infection	CURR CLIN MICROBIOL.2023 SEP;10• 3:75-84	Original Article

81	Abeywickrama, HM ; Uchiyama, M ; Sumiyoshi, T ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	The role of zinc on nutritional status, sarcopenia, and frailty in older adults: a scoping review	NUTR REV.2023 2023 AUG 7:	Others
82	Abeywickrama, HM ; Uchiyama, M ; Sakagami, M ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Post-Migration Changes in Dietary Patterns and Physical Activity among Adult Foreign Residents in Niigata Prefecture, Japan: A Mixed-Methods Study	NUTRIENTS.2023 AUG;15・16:3639	Original Article
83	Lopez-Lopez, V ; Miura, K ; Kuemmerli, C ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Selecting the Appropriate Downstaging and Bridging Therapies for Hepatocellular Carcinoma: What Is the Role of Transarterial Radioembolization? A Pooled Analysis	CANCERS.2023 APR;15・ 7:2122	Review
84	Hirose, Y ; Sakata, J ; Takizawa, K ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Impact of anatomic resection on long-term survival in patients with hepatocellular carcinoma with T1-T2 disease or microscopic vascular invasion	SURG ONCOL.2023 AUG;49:101951	Original Article
85	Moro, K ; Ichikawa, H ; Koyama, Y ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Oral Administration of Glucosylceramide Suppresses Tumor Growth by Affecting the Ceramide/Sphingosine-1-Phosphate Balance in Breast Cancer Tissue	WORLD J ONCOL.2023 OCT;14・5:430-437	Original Article

86	Nagaro, H ; Ichikawa, H ; Takizawa, K ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Clinical Significance of Phosphorylated Sphingosine Kinase 1 Expression in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	ANTICANCER RES.2023 SEP;43・9:3969-3977	Original Article
87	Yamai, D ; Shimada, Y ; Ozeki, H ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Axillary cutaneous metastasis of colon cancer with microsatellite instability-high and BRAF V600E mutation treated with curative-intent surgery: a case report	SURG CASE REP.2023 NOV 14;9・1:196	Case Report
88	Abe, S ; Sakata, J ; Hirose, Y ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Extent of regional lymphadenectomy and number-based nodal classification for non-ampullary duodenal adenocarcinoma	EJSO-EUR J SURG ONC.2023 DEC;49・12:107122	Original Article
89	Ozeki, H ; Shimada, Y ; Nakano, M ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Mucin phenotype and genetic alterations in non-V600E BRAF-mutated colorectal cancer	HUM PATHOL.2024 MAR;145:71-79	Original Article
90	Kano, Y ; Ichikawa, H ; Aizawa, M ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Macroscopic type is implicated in the prognostic impact of initial chemotherapy on peritoneal lavage cytology-positive gastric cancer with no other noncurative factors	INT J CLIN ONCOL.2024 MAR 21:	Others

91	Hanyu, T ; Ichikawa, H ; Kano, Y ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Risk factors for death from other diseases after curative gastrectomy and lymph node dissection for gastric cancer	BMC SURG.2024 JAN 8;24・1:16	Original Article
92	Matsumoto, A ; Shimada, Y ; Nakano, M ; et al.	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Conversion therapy with pembrolizumab for a peritoneal metastasis of rectal cancer causing hydronephrosis in a patient with Lynch syndrome	CLIN J GASTROENTEROL.2024 FEB 23:	Others
93	Enomoto, T ; Mishima, T ; Tsuchida, M ;	心臓血管外科/呼吸器外科	Blood flow analysis with computational fluid dynamics in the left atrium after left atrial plication: a prospective study	GEN THORAC CARDIOVAS.2024 APR;72・4:209-215	Original Article
94	Shimizu, Y ; Koike, T ; Hasebe, T ; et al.	心臓血管外科/呼吸器外科	Surgical Treatment Outcomes of Patients with Non-Small Cell Lung Cancer and Lymph Node Metastases	CANCERS.2023 JUN;15・12:3098	Original Article
95	Okamoto, T ; Yokoi, Y ; Sato, N ; et al.	心臓血管外科/呼吸器外科	Outcomes of thoracic endovascular aortic repair using fenestrated stent grafts in patients with thoracic aortic distal arch aneurysms	EUR J CARDIO-THORAC.2024 MAR 1;65・3:ezae062	Original Article



96	Ohashi, M ; Hasegawa, K ; Hatsushikano , S ; et al.	整形外科	Anatomical Pelvic Parameters Using the Anterior Pelvic Plane: Normative Values and Estimation of the Standing Sagittal Alignment in Healthy Volunteers	SPINE SURG RELAT RES.2024;8•1:97-105	Original Article
97	Noto, Y ; Endo, Y ; Ohashi, M ; et al.	整形外科	Usefulness of the spectral shaping dual-source computed tomography imaging technique in posterior corrective fusion for adolescent idiopathic scoliosis	EUR SPINE J.2024 FEB;33•2:706-712	Original Article
98	Makino, T ; Watanabe, K ; Mizouchi, T ; et al.	整形外科	Gait Analysis by the Severity of Gait Disturbance in Patients with Compressive Cervical Myelopathy	SPINE SURG RELAT RES.2023;7•6:488-495	Original Article
99	Yahata, M ; Watanabe, K ; Tashi, H ; et al.	整形外科	Impact of spinal sagittal malalignment on locomotive syndrome and physical function in community-dwelling middle aged and older women	BMC MUSCULOSKEL DIS.2023 JUL 31;24•1:620	Original Article
100	Imai, N ; Yoda, T ; Horigome, Y ; et al.	整形外科	Determining factors that maintain physical function or increase frailty using the Kihon checklist among community- dwelling older adults: a six-year longitudinal study in Agano, Japan	BMC GERIATR.2023 MAY 30;23•1:336	Original Article

101	Shoji, H ; Ohashi, M ; Yajiri, Y ; et al.	整形外科	Reliability and validity of quantitative ultrasound for evaluating patellar alignment: A pilot study Reply	J ORTHOP SCI.2023 MAY;28•3:714-714	Others
102	Watanabe, K ; Ohashi, M ; Tashi, H ; et al.	整形外科	Axial Neck-Shoulder Pain After Posterior Correction and Fusion for Adolescent Idiopathic Scoliosis With Structural Thoracic Curve Does Cranial Fusion Level Affect Neck Symptoms?	CLIN SPINE SURG.2023 AUG;36•7:E311-E316	Original Article
103	Tanaka, Y ; Sawakami, K ; Shoji, H ; et al.	整形外科	Dynamics of surgical smoke in the operating room during spinal surgery: Comparison of particulate matter 2.5-air concentration between the electric scalpel with and without a smoke evacuation pencil: A cross-sectional study	J ORTHOP SCI.2023 JUL;28•4:740-744	Original Article
104	Tashi, H ; Watanabe, K ; Yahata, M ; et al.	整形外科	Low back pain significantly influences locomotive syndrome in older people: Evaluation using the 3-stage categories	J ORTHOP SCI.2023 MAY;28•3:662-668	Original Article
105	Watanabe, K ; Ohashi, M ; Sekimoto, H ; et al.	整形外科	Evaluating flexibility and predicting curve correction using fulcrum- bending radiographs in Lenke type 2 adolescent idiopathic scoliosis	J ORTHOP SCI.2023 MAY;28•3:529-535	Original Article

106	Hijikata, H ; Tanifuji, O ; Mochizuki, T ; et al.	整形外科	The morphology of the femoral posterior condyle affects the external rotation of the femur	J EXP ORTHOP.2023 NOV 25;10•1:122	Original Article
107	Mochizuki, T ; Ushiki, T ; Suzuki, K ; et al.	整形外科	Characterization of Leukocyte- and Platelet-Rich Plasma Derived from Female Collage Athletes: A Cross-Sectional Cohort Study Focusing on Growth Factor, Inflammatory Cytokines, and Anti-Inflammatory	INT J MOL SCI.2023 SEP;24•17:13592	Original Article
108	Tomiyama, Y ; Mochizuki, T ; Koga, H ; et al.	整形外科	The Matsudai Knee Osteoarthritis Survey showed the longitudinal changes of knee phenotypes in alignment and structure during 23-28 years	KNEE SURG SPORT TR A.2023 NOV;31•11:5034- 5047	Original Article
109	Takagi, S ; Blaha, JD ; Mochizuki, T ;	整形外科	Medial-Pivot Design Improved Knee Symptoms From Anteroposterior Instability in Early-Range Flexion and Resolved Anterior Knee Pain in Revision Total Knee Arthroplasty	J ARTHROPLASTY.2023 JUN;38•6:S284-S289	Original Article
110	Kondo, N ; Kanai, T ; Okada, M ;	整形外科	Rheumatoid Arthritis and Reactive Oxygen Species: A Review	CURR ISSUES MOL BIOL.2023 APR;45• 4:3000-3015	Review

111	Mochizuki, T ; Ushiki, T ; Suzuki, K ; et al.	整形外科	Elevated IL-1 $\beta$ and Comparable IL-1 Receptor Antagonist Levels Are Characteristic Features of L-PRP in Female College Athletes Compared to Male Professional Soccer Players	INT J MOL SCI.2023 DEC;24•24:17487	Original Article
112	Sotsuka, Y ; Murakami, A ; Wakatsuki, H ; et al.	形成・美容外科	Free Flap Survival with External Jugular Vein as a Detour Due to Internal Jugular Vein Thrombosis	PRS-GLOB OPEN.2023 DEC;11•12:e5501	Original Article
113	Sugai, Y ; Kinoshita, Y ; Kobayashi, T ; et al.	小児外科	A rare case of pyosalpinx in adolescent girl with Hirschsprung's disease who underwent transvaginal ultrasound-guided drainage	SURG CASE REP.2023 MAY 9;9•1:74	Case Report
114	Takahashi, Y ; Kobayashi, T ; Kinoshita, Y ; et al.	小児外科	Early and late outcomes of congenital biliary dilatation in pediatric patients	PEDIATR INT.2024 JAN;66•1:e15712	Original Article
115	Saito, Y ; Abe, R	皮膚科	New insights into the diagnosis and management of Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis	CURR OPIN ALLERGY CL.2023 AUG;23•4:271- 278	Review

116	Terao, K ; Kawai, K ; Takei, I ;	皮膚科	Nodular amyloidosis presenting as multiple thin yellow plaques on the back	J DERMATOL.2024 JAN;51•1:E19-E21	Letter
117	Takei, S ; Hayashi, R ; Tomii, K ; et al.	皮膚科	Two cases of infancy associated eosinophilic pustular folliculitis (I-EPF) comparing the profile of infiltrating cells with classic EPF by immunohistochemical study	J DERMATOL.2024 JAN;51•1:125-129	Case Report
118	Ansai, O ; Hayashi, R ; Nakamura, A ; et al.	皮膚科	Deep dermatophytosis caused by Trichophyton rubrum in an elderly patient with CARD9 deficiency: A case report and literature review	J DERMATOL.2024 FEB;51•2:294-300	Case Report
119	Murata, M ; Bilim, V ; Shirano, Y ; et al.	泌尿器科	MicroRNAs as Potential Regulators of GSK-3 $\beta$ in Renal Cell Carcinoma	CURR ISSUES MOL BIOL.2023 SEP;45•9:7432-7448	Original Article
120	Ishikawa, S ; Tasaki, M ; Saito, K ; et al.	泌尿器科	Long-term CMV monitoring and chronic rejection in renal transplant recipients	FRONT CELL INFECT MI.2023 JUN 13;13:1190794	Original Article

121	Ishikawa, S ; Tasaki, M ; Saito, K ; et al.	泌尿器科	Acquisition of Antibody Against Cytomegalovirus After Kidney Transplantation in Seronegative Recipients	TRANSPL P.2023 MAY;55•4:809–814	Original Article
122	Shirano, Y ; Bilim, V ; Anraku, T ; et al.	泌尿器科	Targeting Pro- Survival Autophagy Enhanced GSK-3 $\beta$ Inhibition-Induced Apoptosis and Retarded Proliferation in Bladder Cancer Cells	CURR ONCOL.2023 JUN;30•6:5350–5365	Original Article
123	Murata, M ; Tasaki, M ; Saito, K ; et al.	泌尿器科	Arteriolar hyalinization at 0- hour biopsy predicts long-term graft function in deceased kidney transplantation	INT J UROL.2024 MAR;31•3:287–294	Original Article
124	Ueki, S ; Suzuki, Y ; Nakamura, Y ; et al.	眼科	Age-Dependent Changes in Regulation of Water Inflow Into the Vitreous Body	INVEST OPHTH VIS SCI.2023 SEP;64•12:22	Original Article
125	Akagi, T ; Kato-Takano, Y ; Miyamoto, D ; et al.	眼科	Relationship between Inter-Eye Asymmetries in Corneal Hysteresis and Visual Field Severity in Patients with Primary Open- Angle Glaucoma	J CLIN MED.2023 JUL;12• 13:4514	Original Article

126	Igarashi, R ; Ochiai, S ; Akagi, T ; et al.	眼科	Parapapillary choroidal microvasculature dropout in eyes with primary open-angle glaucoma	SCI REP-UK.2023 NOV 23;13•1:20601	Original Article
127	Akagi, T ; Togano, T ; Iikawa, R ; et al.	眼科	A novel bleb revision technique: lining with tenon's patch graft for treatment of large, ischemic, leaking blebs with severe conjunctival scarring after trabeculectomy	JPN J OPHTHALMOL.2024 JAN;68•1:32-36	Original Article
128	Yagi, C ; Morita, Y ; Yamagishi, T ; et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Changes in functional connectivity among vestibulo-visuo- somatosensory and spatial cognitive cortical areas in persistent postural- perceptual dizziness: resting-state fMRI studies before and after visual	FRONT NEUROL.2023 JUL 24;14:1215004	Original Article
129	Ko, KT ; Takahashi, T ; Honda, K ; et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Avoiding total thyroidectomy for ectopic papillary thyroid carcinoma arising from the lateral neck	ORAL ONCOL.2023 OCT;145:106501	Letter
130	Ohshima, S ; Takami, H ; Katsumi, Y ; et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Distribution patterns of infraorbital nerve branches and risk for injury	ANN ANAT.2023 OCT;250:152118	Original Article

131	Wakasugi, R ; Sasaki, T ; Takano, S ; et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Plus moist HS-W®: a new nasal packing material for the middle meatus in endoscopic sinus surgery	EUR ARCH OTO-RHINO-L.2024 2024 JAN 14:	Others
132	Ueki, Y ; Ohshima, S ; Yokoyama, Y ; et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Multicenter prospective phase II trial of concurrent chemoradiotherapy with weekly low-dose carboplatin for cisplatin-ineligible patients with advanced head and neck squamous cell carcinoma	INT J CLIN ONCOL.2024 JAN;29・1:20-26	Original Article
133	Shodo, R ; Yamazaki, K ; Ueki, Y ; et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Sarcopenia Index Predicts Short-Term Prognosis of Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	NUTR CANCER.2024 FEB 7;76・2:149-159	Original Article
134	Ueki, Y ; Ohshima, S ; Omata, J ; et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Role of eosinophilia in patients with recurrent/metastatic head and neck squamous cell carcinoma treated with nivolumab: Prediction of immune-related adverse events and favorable outcome	CANCER MED-US.2023 NOV;12・22:20810-20820	Original Article
135	Yoshihara, K ; Baba, T ; Tokunaga, H ; et al.	産科婦人科	Homologous recombination inquiry through ovarian malignancy investigations: JGOG3025 Study	CANCER SCI.2023 JUN;114・6:2515-2523	Original Article



136	Sugai, S ; Sekizuka, T ; Haino, K ; et al.	産科婦人科	Obstetrical outcomes of pregnant women 50 years and older compared to those aged 45-49 years: A systematic review and meta-analysis	J OBSTET GYNAECOL RE.2023 JUL;49•7:1689- 1699	Review
137	Sugai, S ; Yamawaki, K ; Sekizuka, T ; et al.	産科婦人科	Pathologically diagnosed placenta accreta spectrum without placenta previa: a systematic review and meta- analysis	AM J OBST GYNEC MFM.2023 AUG;5• 8:101027	Review
138	Yoshihara, K	産科婦人科	Pathogenesis of endometrium-related diseases based on genomic alterations in normal uterine endometrium	J OBSTET GYNAECOL RE.2023 AUG;49•8:2023- 2030	Original Article
139	Sugai, S ; Yamawaki, K ; Haino, K ; et al.	産科婦人科	Incidence of Recurrent Uterine Rupture	OBSTET GYNECOL.2023 DEC;142•6:1365-1372	Review
140	Sugai, S ; Yamawaki, K ; Sekizuka, T ; et al.	産科婦人科	Comparison of maternal outcomes and clinical characteristics of prenatally vs nonprenatally diagnosed placenta accreta spectrum: a systematic review and meta-analysis	AM J OBST GYNEC MFM.2023 DEC;5• 12:101197	Review

141	Takahashi, K ; Yachida, N ; Tamura, R ; et al.	産科婦人科	Clonal origin and genomic diversity in Lynch syndrome-associated endometrial cancer with multiple synchronous tumors: Identification of the pathogenicity of MLH1 p.L582H	GENE CHROMOSOME CANC.2024 MAR;63:3:e23231	Original Article
142	Minato, K ; Yamazaki, M ; Yagi, T ; et al.	放射線治療科・診断科	Effectiveness of one-shot dual-energy subtraction chest radiography with flat-panel detector in distinguishing between calcified and non-calcified nodules	SCI REP-UK.2023 JUN 12;13:1:	Original Article
143	Nakano, H ; Shiinoki, T ; Tanabe, S ; et al.	放射線治療科・診断科	Mathematical model combined with microdosimetric kinetic model for tumor volume calculation in stereotactic body radiation therapy	SCI REP-UK.2023 JUL 6;13:1:10981	Original Article
144	Kumagai, K ; Yagi, T ; Yamazaki, M ; et al.	放射線治療科・診断科	Quantitative MR texture analysis for the differentiation of uterine smooth muscle tumors with high signal intensity on T2-weighted imaging	MEDICINE.2023 AUG 4;102:31:	Original Article
145	Yamamoto, T ; Schindler, E	麻酔科	Regional anesthesia as part of enhanced recovery strategies in pediatric cardiac surgery	CURR OPIN ANESTHESIO.2023 JUN;36:3:324-333	Review

146	Watanabe, T ; Mera, H ; Seino, Y ;	麻酔科	Identifying nerve to vastus medialis at adductor canal entry	J ANESTH.2023 OCT;37:5:813-814	Letter
147	Yamamoto, T	麻酔科	Vulnerability to bending and occlusion of distal lumen of the 17G triple-lumen central venous catheter	JA CLIN REP.2024 FEB 3;10:1:8	Letter
148	Abe, H ; Kamimura, K ; Okuda, S ; et al.	医科総合診療科	BCL11B expression in hepatocellular carcinoma relates to chemosensitivity and clinical prognosis	CANCER MED-US.2023 JUL;12:14:15650-15663	Original Article
149	Akiyama, N ; Yamashiro, T ; Ninomiya, I ; et al.	脳神経内科	Neuroprotective effects of oral metformin before stroke on cerebral small-vessel disease	J NEUROL SCI.2024 JAN 15;456:122812	Original Article
150	Otsu, Y ; Hatakeyama, M ; Kanayama, T ; et al.	脳神経内科	Oxygen-Glucose Deprived Peripheral Blood Mononuclear Cells Protect Against Ischemic Stroke	NEUROTHERAPEUTICS.2023 SEP;20:5:1369-1387	Original Article

151	Kinoshita, Y ; Hatakeyama, M ; Otsuki, M ; et al.	脳神経内科	Cerebellar compensation: a case of aphasia due to cerebellar hemorrhage	J NEUROL.2024 2024 MAR 4:	Others
152	Hatano, Y ; Ishihara, T ; Onodera, O ;	脳神経内科	Accuracy of a machine learning method based on structural and locational information from AlphaFold2 for predicting the pathogenicity of TARDBP and FUS gene variants in ALS	BMC BIOINFORMATICS.2023 MAY 19;24•1:206	Original Article
153	Uemura, M ; Tanaka, N ; Ando, S ; et al.	脳神経内科	Missense Variants in COL4A1/2 Are Associated with Cerebral Aneurysms: A Case Report and Literature Review	NEUROL INT.2024 FEB;16•1:226-238	Case Report
154	Tsuboguchi, S ; Nakamura, Y ; Ishihara, T ; et al.	脳神経内科	TDP-43 differentially propagates to induce antero- and retrograde degeneration in the corticospinal circuits in mouse focal ALS models	ACTA NEUROPATHOL.2023 OCT;146•4:611-629	Original Article
155	Hatano Y ; Ishihara T ; Hirokawa S ; et al	脳神経内科	Machine Learning Approach for the Prediction of Age- Specific Probability of SCA3 and DRPLA by Survival Curve Analysis	NEUROL GENET. 2023 MAY 4; 9 (3) : E200075	Original Article

156	Uemura, M ; Kitahara, S ; Kato, T ; et al	脳神経内科	Inappropriate interpretation of non-pathogenic HTRA1 variant as pathogenic	ANN CLIN TRANSL NEUROL. 2023 JUL; 10(7):1261-1262.	Letter
157	Kitahara, S ; Kanazawa, M ; Natsumeda, M ; et al	脳神経内科	Progressive conus medullaris lesions are suggestive of intravascular large B-cell lymphoma	EUR J NEUROL. 2023 OCT;30(10):3236-3243.	Original Article
158	Ninomiya, I ; Koyama, A ; Otsu, Y ; et al	脳神経内科	Regeneration of the cerebral cortex by direct chemical reprogramming of macrophages into neuronal cells in acute ischemic stroke	FRONT CELL NEUROSCI . 2023 AUG 11:17:1225504.	Original Article
159	Hayashi, H ; Saito, R ; Tanaka, H ; et al	脳神経内科	Clinicopathologic features of two unrelated autopsied patients with Charcot-Marie-Tooth disease carrying MFN2 gene mutation	ACTA NEUROPATHOL COMMUN. 2023 DEC 20;11(1):207.	Letter
160	Ogura, R ; Fujiwara, H ; Natsumeda, M ; et al.	脳神経外科	Preoperative interactive virtual simulation applying three-dimensional multifusion images using a haptic device for lumbosacral lipoma	CHILD NERV SYST.2023 NOV 21:	Others

161	Takahashi, H ; Natsumeda, M ; Hara, N ; et al.	脳神経外科	Missense mutation of NRAS is associated with malignant progression in neurocutaneous melanosis	ACTA NEUROPATHOL COM.2024 JAN 22;12・1:14	Original Article
162	Shibuya, K ; Hasegawa, H ; Suzuki, T ; et al.	脳神経外科	Investigation of Mechanical Thrombectomy in Elderly Patients over 85 Years Old: A Multicenter Study	NEUROL MED-CHIR.2023 SEP;63・9:393-399	Original Article
163	On, J ; Natsumeda, M ; Takahashi, H ; et al.	脳神経外科	Reliable detection of genetic alterations in cyst fluid DNA for the diagnosis of brain tumors	J NEURONCOL 2024 2024 JAN; 166(2):273-282	Original Article
164	Takahashi, H ; Natsumeda, M ; On, J ; et al.	脳神経外科	Administration of glucocorticoids prior to liquid biopsy dramatically reduces the detection rate of MYD88 L265P mutation in cerebrospinal fluid of primary CNS lymphoma patients	LEUK LYMPHOMA 2023 JUN; 64(6):1219-1222	Original Article
165	Nakata, S ; Murai, J ; Okada, M ; et al.	脳神経外科	Epigenetic upregulation of Schlafen11 renders WNT- and SHH-activated medulloblastomas sensitive to cisplatin	NEURO ONCOL 2023 MAY 4; 25(5):899-912	Original Article

166	Suzuki T ; Hasegawa H ; Okamoto K ; et al	脳神経外科	Usefulness of silent magnetic resonance angiography for intracranial aneurysms treated with a flow re-direction endoluminal device.	Interv Neuroradiol:159101992311 74546, 2023 May 7.	Original Article
167	Suzuki T ; Hasegawa H ; Okamoto K ; et al	脳神経外科	Superior Visualization of Neovascularization with Silent Magnetic Resonance Angiography Compared to Time-of-Flight Magnetic Resonance Angiography After Bypass Surgery in Moyamoya Disease.	World Neurosurg;175:e1292- 1299, 2023 Jul.	Original Article
168	Onoda N ; Mikami T ; Saito N ; et al	口腔再建外科	□ Evaluation of oral health-related quality of life in patients with temporomandibular disorders.	Cranio. 2023 Nov;41(6):486-493.	Original Article
169	Asami E ; Kitami M ; Ida T ; et al	口腔再建外科	□ Anti-inflammatory activity of 2-methoxy-4-vinylphenol involves inhibition of lipopolysaccharide-induced inducible nitric oxidase synthase by heme oxygenase-1.	Immunopharmacol Immunotoxicol. 2023 Oct;45(5):589-596.	Original Article
170	Takamura M ; Nikkuni Y ; Hayashi T ; et al	歯科放射線科	Comparing the diagnostic accuracy of ultrasonography, CT, MRI, and PET/CT in cervical lymph node metastasis of oral squamous cell carcinoma.	BIOMEDICINE. 2023 Des;11•12;3119	Original Article

171	Koyama, Y ; Yamamoto, T ; Qi, JR ; et al.	歯科麻醉科	A Transient Sinus Arrest Caused by Intraoral Disinfection Maneuver in Maxillofacial and Oral Surgery Under General Anesthesia: A Case Report	J MAXILLOFAC ORAL SU.2023 2023 JUN 30:	Others
172	Iwama, H ; Kaku, M ; Thant, L ; et al.	矯正歯科	Acellular Extrinsic Fiber Cementum Is Invariably Present in the Superficial Layer of Apical Cementum in Mouse Molar	J HISTOCHEM CYTOCHEM.2024 FEB;72・2:109-120	Original Article
173	Arai, M ; Kaku, M ; Thant, L ; et al.	矯正歯科	Effect of Sparc knockout on the extracellular matrix of mouse periodontal ligament cells	BIOCHEM BIOPH RES CO.2024 JAN 22;692:149364	Original Article
174	Thwin, KM ; Kaneko, N ; Okubo, H ; et al.	予防歯科	Association between dry eye and periodontal disease in community-dwelling Japanese adults: data from the Uonoma cohort study	BMC ORAL HEALTH.2024 JAN 8;24・1:47	Original Article
175	Thwin, KM ; Takehara, S ; Kawaguchi, Y ; et al.	予防歯科	Maternal Factors in Relation to Early Childhood Caries Among Preschool Children in Myanmar	ASIA-PAC J PUBLIC HE.2023 SEP;35:437-440	Original Article



176	Thwin, KM ; Lin, WT ; Takehara, S ; et al.	予防歯科	Socioeconomic, behavioral, and psychological factors related to oral health in Myanmar: A cross- sectional study	J PUBLIC HEALTH DENT.2023 SEP;83• 4:340-346	Original Article
177	Thwin, KM ; Ogawa, H ; Phantumvanit , P ; et al.	予防歯科	Dental caries in the Myanmar population: Findings from the first national oral health survey in 2016-2017	COMMUNITY DENT ORAL.2023 DEC;51• 6:1266-1275	Original Article
178	Taka, N ; Aoyagi, Y ; Miida, K ; et al.	予防歯科	Effect of Silicon Carbide Fiber Length on the Flexural Strength and Flexural Modulus of Short Silicon Carbide Fiber-Reinforced Resin	J FUNCT BIOMATER.2024 FEB;15• 2:30	Original Article
179	Hoshino, T ; Kaneko, N ; Yoshihara, A ; et al.	予防歯科	Associations between Plasma Antibody Levels against Porphyromonas gingivalis and Atrial Fibrillation among Community-Dwelling Older Individuals in Japan: A Cross- Sectional Study	ORAL HEALTH PREV DENT. 2023 Sep 27;21(1):339-346	Original Article
180	Tsuzuno, T ; Takahashi, N ; Nagata, M ; et al.	歯周病科	Characterization of the cellular heterogeneity and bone regenerative potential of cultured human periosteal cells	REGEN THER.2023 DEC;24:642-650	Original Article

181	Tamura H ; Maekawa T ; Domon H ; et al	歯周病科	Erythromycin restores osteoblast differentiation and osteogenesis suppressed by Porphyromonas gingivalis lipopolysaccharide.	Pharmaceuticals (Basel) 16(2):303	Original Article
182	Takizawa F ; Domon H ; Hiyoshi T ; et al	歯周病科	Ozone ultrafine bubble water exhibits bactericidal activity against pathogenic bacteria in the oral cavity and upper airway and disinfects contaminated healthcare equipment.	PLOS ONE 18(4): e0284115	Original Article
183	Edanami, N ; Belal, RSI ; Takenaka, S ; et al.	歯の診療科	In Vivo Assessment of the Calcium Salt-Forming Ability of a New Calcium Silicate-Based Intracanal Medicament: Bio-C Temp	DENT J-BASEL.2023 APR;11・4:91	Original Article
184	Edanami, N ; Takenaka, S ; Ibn Belal, RS ; et al.	歯の診療科	In Vivo Assessment of the Apatite-Forming Ability of New-Generation Hydraulic Calcium Silicate Cements Using a Rat Subcutaneous Implantation Model	J FUNCT BIOMATER.2023 APR;14・4:213	Original Article
185	Kornsombut, N ; Takenaka, S ; Sotozono, M ; et al.	歯の診療科	Antibiofilm Properties and Demineralization Suppression in Early Enamel Lesions Using Dental Coating Materials	ANTIBIOTICS-BASEL.2024 JAN;13・1:106	Original Article

186	Ohkura N ; Nam HK ; Liu F ; et al	歯の診療科	Cranial Neural Crest Specific Deletion of Alpl (TNAP) via P0-Cre Causes Abnormal Chondrocyte Maturation and Deficient Cranial Base Growth.	Int. J. Mol. Sci. 2023, 24(20), 15401	Original Article
187	Ohkura N ; Yoshiba K ; Yoshiba N ; et al	歯の診療科	SVCT2-GLUT1-mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing.	Sci Rep. 2023 Jan 23;13(1):1251.	Original Article
188	Naoto Ohkura N ; Yoshiba K ; Yoshiba N ; et al	歯の診療科	Prostaglandin E2-Transporting Pathway and Its Roles via EP2/EP4 in Cultured Human Dental Pulp	J Endod. 2023 Apr;49(4):410-418.	Original Article
189	Baldeon-Gutierrez, R ; Ohkura, N ; Yoshiba, K ; et al.	歯の診療科	Wound-healing Processes After Pulpotomy in the Pulp Tissue of Type 1 Diabetes Mellitus Model Rats	J ENDODONT.2024 FEB;50・2:196-204	Original Article
190	Kaku M ; Thant L ; Dobashi A ; et al	冠・ブリッジ診療科	Multiomics analysis of cultured mouse periodontal ligament cell-derived extracellular matrix	CTS-CLIN TRANSL SCI.2023 AUG;16・8:1289-1293	Original Article

191	Okawa, J ; Hori, K ; Izuno, H ; et al.	義齒診療科	Developing tongue coating status assessment using image recognition with deep learning	J PROSTHODONT RES.2023 2023 SEP 28:	Original Article
192	Hasegawa, Y ; Minakuchi, H ; Nishimura, M ; et al.	義齒診療科	Effect of soft denture liners on complete denture treatments: A systematic review	J PROSTHODONT RES.2024 2024 FEB 21:	Original Article
193	Sta Maria MT ; Hasegawa Y ; Marito P ; et al	義齒診療科	The impact of residual ridge morphology on the masticatory performance of complete denture wearers	Heliyon. 2023 May.13;9(5):e16238	Original Article
194	Yoshimoto T ; Hasegawa Y ; Sta Maria MT ; et al	義齒診療科	Effect of mandibular bilateral distal extension denture design on masticatory performance	J Prosthodont Res. 2023 Oct.13;67(4):539–547	Original Article
195	Murakami K ; Kasakawa N ; Hori K ; et al	義齒診療科	Relationship between maximal isometric tongue pressure and limit of fracture force of gels in tongue squeezing	J Oral Rehabil. 2024 Mar;51(3):574–580.	Original Article

196	Sta Maria MT ; Hasegawa Y ; Khaing M M Aye ; et al	義歯診療科	The Relationships between Mastication and Cognitive Function: A Systematic Review and Meta-Analysis	Jpn Dent Sci Rev. 2023 Dec;59:375-388	Original Article
197	Reiko Ita ; Jin Magara ; Yuto Ochiai ; et al	口腔リハビリテーション科	Use of suction electrodes for measurement of intrinsic tongue muscular endurance during lingual pressure generation	J Oral Rehabil, 51(3):566-573	Original Article
198	Kobayashi, T ; Bartold, PM	歯科総合診療科	Periodontitis and periodontopathic bacteria as risk factors for rheumatoid arthritis: A review of the last 10 years	JPN DENT SCI REV.2023 DEC;59:263-272	Review
199	Suzuki, T ; Hino, H ; Magara, J ; et al.	摂食嚥下機能回復部	Effects of Head and Neck Alignment and Pharyngeal Anatomy on Epiglottic Inversion During Swallowing in Dysphagic Patients	DYSPHAGIA.2023 DEC;38・6:1519-1527	Original Article
200	Yamada T ; Nakano H ; Tanabe S ; et al	放射線部	Verification of Qfix Encompass™ couch modeling using the Acuros XB algorithm and HypeArc™ using a high-spatial-resolution two-dimensional diode array.	Med Dosim. 2023 Winter;48(4):261-266.	Original Article

201	Yoshida, K ; Watanabe, S ; Hoshino, N ; et al.	薬剤部	Hospital pharmacist interventions for the management of oral mucositis in patients with head and neck cancer receiving chemoradiotherapy: a multicenter, prospective cohort study	SUPPORT CARE CANCER.2023 MAY;31・5:316	Original Article
202	Yoshida, K ; Kodama, Y ; Kiyomi, A ; et al.	薬剤部	Effect of Yokukansan on preoperative anxiety and postoperative pain in mandibular third molar extraction: A pilot study	ORAL SCI INT.2023 2023 JUN 26:	Others
203	Tanaka, M ; Miyazawa, H ; Terashima, R ; et al.	臨床研究推進センター	Conditional early approval for new drug applications in Japan: Current and emerging issues	CTS-CLIN TRANSL SCI.2023 AUG;16・8:1289-1293	Original Article

計203件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	鎌倉 栄作, 古川 佳奈 子, 大友 悠 太郎, et al.	医科総合診療部	そう痒の治療に難渋した抗TIF1-γ抗体陽性皮膚筋炎を合併した小細胞肺癌の1例	呼吸臨床. 2023 Aug; 7巻 8号 :1/6-6/6	Case Report

2	鎌倉 栄作, 伊藤 達哉, 佐藤 謙二郎, et al.	医科総合診療部	器質化肺炎の治療中に診断された視神経脊髄炎(NMO)の1例	呼吸臨床. 2023 Jul;7巻7号 :1/8-8/8	Case Report
3	早福 あやか, 加嶋 克則, 齊藤 朋子, et al.	魚沼基幹地域医療教育センター	胎児発育不全を生じた遺伝性出血性末梢血管拡張症の一例	新潟産科婦人科学会会誌. 2024 Mar;118巻2号 :74-77	Original Article
4	佐藤 洋, 三輪 矢真人, 高橋 元子, et al.	魚沼基幹地域医療教育センター	直腸穿孔後の遅発性瘻孔に対してover the scope clip(OTSC)systemによる閉鎖が有効であった1例	臨床外科. 2023 Sep;78巻9号 :1144-1148	Case Report
5	生越 章, 川島 寛之	魚沼基幹地域医療教育センター	【動静脈奇形症例集[3]-躯幹-】周囲二重結紮法で外科的治療した胸壁動静脈奇形の1例	形成外科. 2024 Feb;67巻2号 :131-136	Case Report
6	岩本 佑耶, 佐藤 拓実, 長谷川 真奈, et al.	歯科総合診療部	分割抜去された上顎右側第一大臼歯の根面に義歯の安定性を求めた一症例	日本総合歯科学会雑誌. 2023 Oct;15巻 :37-43	Case Report
7	長澤 伶, 佐藤 拓実, 中村 太, et al.	歯科総合診療部	研修歯科医と指導歯科医の上顎右側中切歯に対するミラーテクニックを用いた切削技能の比較	日本総合歯科学会雑誌. 2023 Oct;15巻 :14-23	Original Article
8	長谷川 真奈, 中村 太, 佐藤 拓実, et al.	歯科総合診療部	基礎と臨床の融合科目「早期臨床実習II」の教育効果に関する検証	日本歯科医学教育学会雑誌. 2023 Apr;39巻1号 :17-24	Original Article
9	相澤 有香, 池田 順行, 永井 孝宏, et al.	顎顔面口腔外科	多数の過剰歯と集合型歯牙腫を同時に認めた1例	新潟歯学会雑誌. 2023 Jun;53巻1号 :25-29	Case Report

10	河村 篤志	顎口腔インプラント治療部	前歯部固定性補綴装置によりアンテリアガイダンスを獲得し審美・機能回復を行った一例	日本補綴歯科学会誌. 2023 Oct;15巻4号 :511-514	Case Report
11	江口 香里	冠・ブリッジ診療科	異常絞扼反射の患者に対して大連結子の位置に配慮して上顎部分床義歯を適用した症例	日本補綴歯科学会誌. 2024 Jan;16巻1号 :75-78	Case Report
12	宮本 大輝, 市村 美香, 落合 竣, et al.	眼科	広義原発開放隅角緑内障患者に対するアイフレイルチェックリストの有用性の検討	眼科. 2023 Jun;65巻6号 :571-578	Original Article
13	福地 優衣, 曾束 洋平, 宮田 昌幸, et al.	形成・美容外科	3Dモデルによる術前シミュレーションと術中ナビゲーションを併用し頭蓋形成を施行した石灰化頭血腫の治療経験	日本形成外科学会誌. 2023 Oct;43巻10号 :606-613	Case Report
14	今村 嶺太, 曾束 洋平, 福地 優衣, et al.	形成・美容外科	両側内胸動脈を使用した冠動脈バイパス手術後に生じた胸骨骨髓炎に対する上方茎有茎腹直筋皮弁での前胸部再建の1例	形成外科. 2023 Jul;66巻7号 :851-858	Case Report
15	宇井 雅博, 柴田 怜, 菊地 利明	呼吸器・感染症内科	再発性多発軟骨炎の治療中に発症したMycobacterium chelonaeによる血流感染の1例	結核. 2024 Mar;99巻2号 :73-77	Original Article
16	羽山 響, 白石 修一, 渡邊 マヤ, et al.	呼吸循環外科	ファロー四徴症/肺動脈弁欠損,cervical arch,単一冠動脈を合併した低出生体重児に対する外科治療の1例	日本心臓血管外科学会雑誌. 2023 Sep;52巻5号 :305-309	Case Report
17	高橋 利典, 白石 修一, 渡邊 マヤ, et al.	呼吸循環外科	肺動脈弁逆流を伴う新生児重症Ebstein病に対してStarnes手術変法を行った2例	日本心臓血管外科学会雑誌. 2023 Jul;52巻4号 :216-220	Case Report



18	青木 志門, 本田 博之, 玉川 大朗, et al.	高度救命救急センター・集中 治療部	COVID-19肺炎により 重症呼吸不全を呈し たBMI70を超える病的 肥満患者にV-V ECMOを導入し救命し た1例	人工呼吸. 2023 May; 40 巻1号 : 79-84	Case Report
19	佐藤 仁美, 島 英里, 西 野 幸治, et al.	産科婦人科	多血症を呈しエリスロ ポエチン産生が疑われ た閉経後子宮筋腫 の一例	新潟産科婦人科学会会 誌. 2024 Mar; 118巻2号 : 78-83	Original Article
20	菅野 悠里 子, 西野 幸 治, 谷地田 希, et al.	産科婦人科	ペグフィルグラスチム による大動脈炎をき たした1例	産婦人科の実際. 2023 Jun; 72巻6号 : 639-644	Case Report
21	島 英里, 西 野 幸治, 谷 地田 希, et al.	産科婦人科	上皮性卵巣腫瘍を背 景に発生したと思わ れる閉経後卵黄嚢腫 瘍の一例	日本婦人科腫瘍学会雑 誌. 2023 Apr; 41巻2号 : 242-249	Case Report
22	吉田 智美, 竹山 雅規, 網谷 季莉子 , et al.	歯科矯正科	口腔内装置(OA)の長 期使用によって閉塞 性睡眠時無呼吸 (OSA)患者で生じる 形態学的副作用とそ の予測についての側 面頭部エックス線規 格写真を用いた研究	睡眠口腔医学. 2023 Sep; 10巻1号 : 16-24	Original Article
23	秋葉 奈美	歯科補綴	缺状咬合を伴う過蓋 咬合に対して可撤性 部分床義歯により咬 合再構成を行った症 例	日本補綴歯科学会誌. 2024 Jan; 16巻1号 : 115- 118	Case Report
24	大川 純平	歯科補綴	すれ違い咬合に対し て根面アタッチメント を用いた残根上義歯 にて機能回復を行っ た症例	日本補綴歯科学会誌. 2024 Jan; 16巻1号 : 107- 110	Case Report
25	村上 和裕	歯科補綴	舌可動部全摘術後の 無歯顎患者にピエゾ グラフィーを応用して 義歯を製作した症例	日本補綴歯科学会誌. 2023 Oct; 15巻4号 : 591- 594	Case Report

26	田中 裕, 瀬尾 憲司, 倉田 行伸, et al.	歯科麻酔科	GAD-7による口腔顔面痛患者の不安の調査	慢性疼痛. 2023 Dec; 42巻1号 : 50-56	Original Article
27	倉田 行伸, 岸本 直隆, 田中 裕, et al.	歯科麻酔科	新潟大学医歯学総合病院歯科麻酔科における最近4年間の外来新患者の動向	新潟歯学会雑誌. 2024 Jan; 53巻2号 : 65-71	Original Article
28	沢田 詠見, 山本 徹, 岸本 直隆, et al.	歯科麻酔科	パルスオキシメータプローブの過圧迫により手指が虚血になったと思われた小児の1症例	日本歯科麻酔学会雑誌. 2023 Oct; 51巻4号 : 127-129	Case Report
29	氏田 倫章, 山本 徹, 田中 裕, et al.	歯科麻酔科	気管挿管時に気管狭窄が認められたダウン症候群患者の全身麻酔経験	日本歯科麻酔学会雑誌. 2023 Apr; 51巻2号 : 30-32	Case Report
30	高橋 剛史, 有賀 秀治, 大石 直樹, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	日本における耳鼻咽喉科医師のセカンドキャリア意識について	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 2024 Jan; 127巻1号 : 38-44	Original Article
31	志田 洋次郎, 馬場 洋徳, 岩井 玄樹, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	異なる手術アプローチを行った後部声門狭窄症の2例	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 2023 Oct; 126巻10号 : 1142-1147	Case Report
32	若杉 亮, 佐々木 崇暢, 鎌田 悠志, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	新規鼻内パッキング資材「プラスモイストHS-W」の開発と使用経験	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 2023 Aug; 126巻8号 : 998-1004	Case Report
33	清水 蓉子, 森田 由香, 北澤 明子, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診断・治療経過においてNPQが有用であったメニエール病合併PPPD例	Equilibrium Research. 2023 Jun; 82巻3号 : 195-200	Case Report

34	肥田野 裕美, 中村 優, 今井 英一	手術部	高度肥満(BMI69)・COVID-19感染患者のECMO挿入術における手術室看護師の取り組み	日本手術医学会誌. 2023 Oct; 44巻3号 : 370-374	Original Article
35	本田 博之, 栗田 秀一郎, 松井 亨, et al.	集中治療部	ECMO脱血カニューレが上行腰静脈経由で下大静脈に留置されたが静脈造影下の抜去に成功した1例	日本救急医学会雑誌. 2024 Jan; 35巻1号 : 22-27	Original Article
36	晝間 優隆, 番場 祐基, 土田 雅史, et al.	集中治療部	デクスメトミジンを用いてリハビリテーションを行った重症全身性破傷風の1例	日本臨床麻酔学会誌. 2023 May; 43巻3号 : 193-197	Case Report
37	廣嶋 省太, 澤野 堅太郎, 柴田 奈央, et al.	小児科	先天性甲状腺機能低下症スクリーニングにおける多胎児スクリーニングの影響再採血数の増加と発症率の検討	日本マス・スクリーニング学会誌. 2024 Feb; 33巻3号 : 372-376	Original Article
38	高橋 良彰, 申 将守, 木下 義晶, et al.	小児外科	Oncologic emergencyを呈した前縦隔腫瘍の生検困難例への経験 苦慮した1例より	日本小児血液・がん学会雑誌. 2023 Jun; 60巻1号 : 61-64	Case Report
39	高野 祥一, 木下 義晶, 小林 隆, et al.	小児外科	急性腹症で発症し男性化徴候を契機に診断された副腎皮質癌の1例	日本小児外科学会雑誌. 2023 Aug; 59巻5号 : 892-898	Case Report
40	会沢 慧亮, 滝沢 一泰, 河内 裕介, et al.	消化器・一般外科	腭頭部癌術後の肝・肺転移再発に対し局所切除を含む集学的治療により長期生存を得た1例	癌と化学療法. 2024 Jan; 51巻1号 : 72-74	Case Report
41	河内 裕介, 坂田 純, 安部 舜, et al.	消化器・一般外科	2回の肝内再発巣切除を施行して長期生存が得られた肝嚢胞腺癌の1例	癌と化学療法. 2023 Dec; 50巻13号 : 1953-1955	Case Report

42	石川 博補, 坂田 純, 河 内 裕介, et al.	消化器・一般外科	胆管穿破し肝機能障 害を来した膵管内乳 頭粘液性腺癌の1例	癌と化学療法. 2023 Dec;50巻13号 :1872- 1874	Case Report
43	安藤 拓也, 坂田 純, 河 内 裕介, et al.	消化器・一般外科	長期生存が得られた リンパ節転移を伴う 肝側胆管切離断端上 皮内癌陽性の広範囲 胆管癌の1例	癌と化学療法. 2023 Dec;50巻13号 :1753- 1755	Case Report
44	稲垣 辰樹, 田島 陽介, 島田 能史, et al.	消化器・一般外科	BRAF V600E変異お よびマイクロサテラ イト不安定性を有する 虫垂腺癌の1例	癌と化学療法. 2023 Dec;50巻13号 :1584- 1586	Case Report
45	榊原 絹茂, 市川 寛, 加 納 陽介, et al.	消化器・一般外科	術前DCF療法不応に て根治的放射線 療法に移行し救済食 道切除で根治切除を 得た食道扁平上皮癌 の1例	癌と化学療法. 2023 Dec;50巻13号 :1447- 1449	Case Report
46	末森 理美, 中野 雅人, 島田 能史, et al.	消化器・一般外科	胸部大動脈瘤を合併 した高齢者同時性重 複癌(大腸癌,乳癌)の 1例	癌と化学療法. 2023 Dec;50巻13号 :1393- 1395	Case Report
47	高綱 将史, 高橋 一也, 水野 研一, et al.	消化器内科	【ピロリ菌未感染胃粘 膜に発生する種々の 疾患】家族性大腸腺 腫症患者と非家族性 大腸腺腫症患者にお けるピロリ菌陰性胃 癌の比較検討	消化器内科. 2023 Jun;5 巻1号:73-79	Original Article
48	鈴木 勇人, 今井 教雄, 坂上 敦, et al.	整形外科	反復性脱臼に伴った 変形性股関節症に対 して人工股関節置換 術で治療した神経線 維腫症1型の1例	日本人工関節学会誌. 2023 Dec;53巻 :241-242	Case Report
49	谷藤 理, 望 月 友晴, 古 賀 寛, et al.	整形外科	血友病性関節症に対 する人工膝関節置換 術の治療経験	日本人工関節学会誌. 2023 Dec;53巻 :91-92	Original Article

50	角谷 梨花, 近藤 直樹	整形外科	関節リウマチ患者の 大腿骨皮質骨幅は、 遠位部前方と遠位部 内側方で有意に薄く、 骨密度と正の相関を 示す	日本関節病学会誌. 2023 Dec; 42巻4号 : 313-320	Original Article
51	坂上 敦, 宮 坂 大, 今井 教雄, et al.	整形外科	THAにおけるステム 切り抜き法はステム 前捻角の設置精度を あげる	Hip Joint. 2023 Aug; 49 巻1号 : 370-373	Original Article
52	鈴木 勇人, 今井 教雄, 坂上 敦, et al.	整形外科	大腿骨頭回転骨切り 術における頸体角の 変化	Hip Joint. 2023 Aug; 49 巻1号 : 80-85	Original Article
53	野崎 あさみ, 今井 教雄, 菫蒲川 由郷 , et al.	整形外科	新潟県における大腿 骨近位部骨折発生状 況の推移 2020年新 潟県高齢者骨折調査 より	日本骨粗鬆症学会雑誌. 2023 May; 9巻2号 : 241- 245	Original Article
54	望月 友晴, 谷藤 理, 高 木 繁	整形外科	【膝蓋大腿関節障害 の治療】膝蓋骨脱臼 に対する保存治療と その限界	整形・災害外科. 2024 Jan; 67巻1号 : 19-23	Original Article
55	角谷 梨花, 近藤 直樹, 藤澤 純一, et al.	整形外科	【バイオ時代における リウマチ性疾患の診 療】薬物治療 生物 学的製剤 関節リウ マチに対するゴリム マブの臨床成績	別冊整形外科. 2023 Oct; 84号 : 58-61	Original Article
56	近藤 直樹, 角谷 梨花, 川島 寛之	整形外科	【バイオ時代における リウマチ性疾患の診 療】手術的治療 下 肢 関節リウマチによ る外反母趾変形に対 する人工母趾中足趾 節間関節置換術の臨 床成績	別冊整形外科. 2023 Oct; 84号 : 125-129	Original Article
57	宮崎 友宏, 大橋 正幸, 田仕 英希, et al.	整形外科	腎癌脊椎転移に対す る姑息的手術後の生 命予後に影響する因 子の検討	東北整形災害外科学会雑 誌. 2023 Jun; 66巻1号 : 1-4	Original Article

58	齋藤 直朗, 須田 大亮, 齋藤 大輔, et al.	組織再建口腔外科	幼児期の下顎骨関節 突起骨折により発症 した顔面非対称に対 して外科的矯正治療 を施行した1例	日本顎変形症学会雑誌. 2023 Dec;33巻4号 :268- 274	Case Report
59	船山 昭典, 三上 俊彦, 新美 奏恵, et al.	組織再建口腔外科	過去20年間に当科を 受診した悪性腫瘍患 者の動向と疾病病態	新潟歯学会雑誌. 2023 Jun;53巻1号 :17-23	Original Article
60	田島 義家, 沼田 由夏, 渡辺 裕介, et al.	総合研修部	麦門冬湯による薬剤 性肺炎が疑われた1 症例	長岡赤十字病院医学雑 誌. 2023 Dec;36巻1号 : 57-62	Original Article
61	棗田 学, 温 城太郎, 渡 邊 潤, et al.	脳神経外科	【「脳神経外科領域に おけるPDTの現状と 問題点」】当科にお ける光線力学療法の 経験および次世代へ の挑戦	日本レーザー医学会誌. 2023 Jul;44巻2号 :95- 101	Original Article
62	鈴木 倫明, 長谷川 仁, 澁谷 航平, et al.	脳神経外科	PICA and ASA involved typeの出血 性解離性椎骨動脈瘤 に対し,急性期にステ ント支援下コイル塞 栓術を行い,慢性期に OA-PICA bypass併 用コイル塞栓術を 行った1例	脳卒中の外科. 2023 Nov;51巻6号 :513-519	Case Report
63	大倉 良太, 吉田 至誠, 高橋 陽彦, et al.	脳神経外科	緊張型脳実質内気脳 症の1例	脳神経外科速報. 2023 Nov;33巻6号 : e1-e7	Case Report
64	中村 航世, 坪口 晋太 朗, 二宮 格 , et al.	脳神経内科	汎発性帯状疱疹に腰 仙髄領域の多発神経 根障害と腓骨神経障 害を合併した1例	臨床神経学. 2023 Jun; 63巻6号 :359-362	Case Report
65	筒井 由夏, 藤川 大基, 阿部 理一郎	皮膚科	【気をつけるべき小児 の腫瘍～悪性腫瘍を 見逃さない～】小児 のリンパ腫様丘疹症	皮膚病診療. 2023 Apr; 45巻4号 :338-341	Case Report

66	横山 彩乃, 濱 菜摘, 吉 澤 優太, et al.	皮膚科	トリソミー8陽性骨髄 異形成症候群に合併 した陰茎壊疽性膿皮 症の1例	臨床皮膚科. 2024 Feb; 78巻2号 :172-178	Case Report
67	勝海 洸司, 安齋 理, 阿 部 理一郎, et al.	皮膚科	【水疱をきたす疾患】 アルコール飲料に含 まれるキニーネによ る固定疹の2例	皮膚病診療. 2024 Mar; 46巻3号 :277-281	Case Report
68	佐藤 亜美, 出口 登希 子, 島田 奏 , et al.	皮膚科	経口ビスホスホネート 製剤が原因と考えら れた口腔粘膜潰瘍の 1例	皮膚科の臨床. 2023 Oct; 65巻11号 :1673- 1676	Case Report
69	吉田 謙介, 松本 吉史, 磯貝 和也, et al.	薬剤部	メサドンの服用タイ ミングの変更によって 傾眠を軽減できた1症 例	日本緩和医療薬学雑誌. 2024 Mar; 17巻1号 :25- 28	Original Article
70	小竹 正晃, 坂井 由紀, 新木 貴大, et al.	薬剤部	切除不能腺がんに対 するゲムシタビン+ナ ブパクリタキセル療法 の長期継続に寄与す る因子に関する調査	日本病院薬剤師会雑誌. 2023 May; 59巻5号 : 519-524	Original Article

計70件

1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 新潟大学における人を対象とする研究等倫理審査委員会規程 2. 研究等倫理審査委員会に関する標準業務手順書 3. 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書 4. 人を対象とする生命科学・医学系研究における人体から取得された試料及び情報等の提供及び保管に関する手順書 5. 人を対象とする生命科学・医学系研究における重篤な有害事象及び不具合等の報告・対応に関する標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 1. 国立大学法人新潟大学利益相反マネジメント規程 2. 新潟大学利益相反マネジメント委員会人を対象とする医学系研究等利益相反マネジメント専門委員会細則 3. 新潟大学利益相反マネジメントガイドライン（人を対象とする医学系研究等）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員	年12回



会の開催状況	
--------	--

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・研修の主な内容 1. 令和5年度 研究倫理セミナー	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の連携医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、連携医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	医科73人, 歯科0人
-------------	-------------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
猪又 孝元	循環器内科	教授	36年	
曾根 博仁	内分泌・代謝内科	教授	35年	
曾根 博仁	血液内科	教授	35年	
後藤 眞	腎・膠原病内科	准教授	34年	
菊地 利明	呼吸器・感染症内科	教授	35年	
菊地 利明	心療内科	教授	35年	
土屋 淳紀	消化器内科	准教授	25年	
土屋 淳紀	消化器内科	准教授	25年	
小野寺 理	脳神経内科	教授	38年	
周 啓亮	腫瘍内科	准教授	12年	
江川 純	精神科	准教授	21年	
齋藤 昭彦	小児科	教授	34年	
若井 俊文	消化器外科	教授	33年	
若井 俊文	乳腺・内分泌外科	教授	32年	
白石 修一	心臓血管外科	教授	27年	
土田 正則	呼吸器外科	教授	40年	
川島 寛之	整形外科	教授	29年	
松田 健	形成・美容外科	教授	29年	
木下 義晶	小児外科	教授	32年	
大石 誠	脳神経外科	教授	27年	
阿部 理一郎	皮膚科	教授	31年	
冨田 善彦	泌尿器科	教授	40年	

石川 浩志				
福地 健郎	眼科	教授	40年	
堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	36年	
吉原 弘祐	産科婦人科	教授	22年	
石川 浩志	放射線治療科	教授	30年	
石川 浩志	放射線診断科	教授	30年	
馬場 洋	麻酔科	教授	37年	
西山 慶	救急科	教授	28年	
川島 寛之	リハビリテーション科	教授	29年	
梅津 哉	病理診断科	准教授	38年	
藤井 規孝	歯科総合診療科	教授	34年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容、研修の期間・実施回数、研修の参加人数に関して 別添1 「2023年度RICCAキャリア開発支援研修実績」参照（対象研修：任意研修）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容、研修の期間・実施回数、研修の参加人数に関して 別添1 「2023年度RICCAキャリア開発支援研修実績」参照（対象研修：基礎研修、ラダー別研修、役割研修、看護補助者研修等）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容、研修の期間・実施回数、研修の参加人数に関して 別添2「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況：令和5年度」を参照

(注)1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注)2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 前島 一実	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室, 画像診断支援室, 電算機室	※外来, 入院とも電子媒体(一部紙媒体)  ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており, やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者総合サポートセンター	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門		

各所掌部門において管理

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="checkbox"/> 2. 現状 <input checked="" type="checkbox"/>
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦□
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 島田 彰□
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室□
閲覧の手続の概要 様式第5の保管場所・管理方法による。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。



規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>2 医療安全管理委員会及び医療安全管理に関わる組織等に関する基本的事項</li> <li>3 医療安全管理に関する職員研修の基本方針</li> <li>4 医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>5 医療上の事故等の発生時の基本方針</li> <li>6 患者との情報共有に関する基本方針</li> <li>7 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>8 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する基本方針</li> <li>9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 開催状況：年13回</li> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アクシデントの発生防止対策に関すること</li> <li>2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関すること</li> <li>3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関すること</li> <li>4 その他医療安全の推進に関すること</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特定機能病院の承認要件</li> <li>2 本院の医療安全管理に関して（報告書の適切な管理を含めて）</li> <li>3 医薬品の安全管理</li> <li>4 医療機器の安全管理</li> <li>5 個人情報保護、情報セキュリティ</li> <li>6 診療放射線安全利用の講習</li> <li>7 本院のインフォームド・コンセントについて</li> <li>8 本院の虐待対応</li> <li>9 RRSIについて</li> </ol> </li> <li>※ この他に新規採用者・復職者への研修、外部委託業者への研修を別途実施した</li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集</li> <li>2 医療安全対策の取り組みの評価、インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討</li> <li>3 インシデント及びアクシデント事例の医療安全管理委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証・重大アクシデント発生時に</li> </ol> </li> </ul>	

は速やかに管理者に報告するための体制整備

4 院内で発生した死亡・死産事例（入院・外来）の全例チェックおよび検討

5 医療安全管理委員会、同調査専門委員会における事例分析、再発防止の検討、他

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 院内感染に関する基本的な考え方</li> <li>2 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項</li> <li>3 院内感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針</li> <li>4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6 他施設との連携</li> <li>7 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>8 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 感染対策指針及び感染対策のマニュアルに関すること。</li> <li>2 感染の予防対策に関すること。</li> <li>3 抗菌薬の適正使用に関すること。</li> <li>4 感染発生時の対応及び改善策に関すること。</li> <li>5 感染対策に係る情報の収集及び医療従事者への周知に関すること。</li> <li>6 感染対策に係る教育及び研修に関すること。</li> <li>7 感染対策の実施状況の評価に関すること。</li> <li>8 関東・甲信越ブロックのエイズ治療拠点病院の業務に関すること。</li> <li>9 その他感染対策に関すること。</li> </ol> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス対策（診療面について）</li> <li>2 標準予防策 コロナ禍で学んだニュースタANDARD</li> <li>3 抗菌薬適正使用について</li> <li>4 HIV感染症とAIDS診療の基礎知識／サル痘について</li> <li>6 血液媒介病原体曝露予防</li> <li>7 薬剤耐性菌に対する感染対策</li> </ol> <p>※ この他に新規採用者・復職者への研修、外部委託業者への研修を別途実施した</p> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬剤耐性菌、人工呼吸器関連肺炎、中心ライン関連血流感染、外科系診療科（消化器・乳腺内分泌外科、呼吸器・心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、脳神経外科、小児外科、整形外科）別、一部術式別SSI、尿道留置カテーテル関連尿路感染、インフルエンザ等の流行性ウイルス性疾患、感染性胃腸炎、手指消毒薬の払い出し状況、手指衛生遵守状況、抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施</li> <li>2 サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション、環境チェック）</li> <li>3 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し、迅速な感染防止対策を実施</li> <li>4 感染対策基本マニュアルの作成および改訂</li> </ol> </li> </ul>	

- 5 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は、直接的な主治医とのディスカッション
- 6 TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供）
- 7 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応
- 8 針刺し・切創、粘膜曝露対策、職員のワクチン接種などの職業感染対策
- 9 施設管理部門、清掃業者等と連携によるファシリティマネジメント

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための  
体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医薬品の安全管理                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本院の医薬品安全管理体制</li> <li>② 本院の医薬品に関連するインシデントの現状</li> <li>③ 周知でお願いしたいこと</li> <li>④ その他</li> </ol> </li> </ol> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各部署の手順書の遵守状況(評価A/B/C/D)のチェックを実施した。A評価とならなかった項目は、後日改善を確認した。</li> <li>② 医薬品にかかる院内研修、適応外・未承認薬使用の審査、医薬品安全情報の院内周知等を実施した。</li> <li>③ 手順書の改訂を行った。</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)：               <p>未承認等の医薬品の使用は従来から使用しているものも含めて、すべて新規医療技術等管理センター(未承認新規医薬品等の担当部門)に申請があり、センターの会議で承認をされたものに限り使用している。医薬品安全管理責任者はセンターの会議に評価委員会委員として陪席をしており、未承認等の医薬品の使用事例を把握している。</p> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 採用薬剤適正使用情報(Vol.167~Vol.226)の配信                   <p>当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用して、メールにて配信を行っている。配信先(医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等)は必要に応じて選択して配信。</p> </li> <li>2 薬剤情報ステーションの発刊                   <p>薬剤部から2か月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。</p> </li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための  
体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年177回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 医療機器の安全使用のため、以下の機器について定期的に研修を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人工心肺装置及び補助循環装置</li> <li>・ 人工呼吸器</li> <li>・ 血液浄化装置</li> <li>・ 除細動器（AEDを除く）</li> <li>・ 閉鎖式保育器</li> <li>・ 診療用高エネルギー放射線発生装置</li> <li>・ 診療用放射線照射装置</li> <li>・ その他超音波画像診断装置、血糖測定器 など</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有・無 ）</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</li> </ul> <p>上記②で示した医療機器について、日々の点検をMEセンターや放射線部の技術職員が行い、保守点検計画書に基づき、メーカーによる保守や定期的な点検を行っている。 なお、保守点検の実施状況・内容等は、医療機器安全管理責任者を委員長とする院内委員会にて評価を受けることとしている。 ※保守点検計画書には、医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検の予定時期、間隔、条件等を記載している。 また、機器台帳にて修理履歴を保管している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ）</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</li> </ul> <p>病院長を委員長とした“新規医療技術等管理センター”にて検討を行うことになっている。 また、実際に使用された場合にも、この委員会に報告することになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> </ul> <p>厚生労働省等の行政、PMDA及び日本医療機能評価機構からの通知や、各種学会等のホームページや医療機器メーカーから情報をMEセンターが収集し、該当医療機器に携わる者へ直接通知を行う。 また、院内webサーバーにも必要な情報を掲載し、院内に周知している。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療安全管理部長として、院内の医療安全に関する管理部門を統括する。</li> <li>2 医療の安全管理体制の確保及び推進や、重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療安全管理委員会の構成員であり運営を統括する。</li> <li>3 医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務、医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務、さらに、診療放射線の安全利用のための体制確保として医療放射線安全管理責任者の実施業務に関し、それぞれ各専門部会の構成員となり、各責任者の業務を統括する。</li> </ol>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的（月一回程度）な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告</li> <li>2 薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知</li> <li>3 全部署のリスクマネジャーが出席するリスクマネジャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネジャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認</li> </ol> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用（以下、「未承認等の医薬品の使用」という。）に該当するか否かの把握</li> <li>2 未承認等の医薬品の使用について審査する委員会で承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案</li> <li>3 薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有</li> </ol> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部、職種 薬剤師）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>：1 患者が内容を十分理解できるような文書を用いた医療者からの説明が行われているか、また、患者の明確な文書による意思表示は行われているかについて、インフォームド・コンセントの定期的な監査を実施している。監査結果に基づき、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。</p> <p>2 インフォームド・コンセントに関する基本方針、インフォームド・コンセントの実際（説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項）、インフォー</p>	

ムド・コンセントの取得フローチャート、インフォームド・コンセントを必要とする医療行為、同席を要する医療行為等の規定を定めている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：          診療録監査委員会内規に基づき、年2回診療録監査を実施し、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（25）名          うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（11）名          うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名          うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（3）名          （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療安全管理委員会に係る運営及び事務</li> <li>2 アクシデント又は病院長が必要と認める事象(以下「事象等」という。)が発生した場合は、事象等に係る次に掲げる事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 診療録その他診療に関する記録の確認</li> <li>ロ 患者又はその家族への説明</li> <li>ハ 発生原因の究明</li> <li>ニ その他対応状況の確認</li> <li>ホ 職員に対する必要な指導</li> </ul> </li> <li>3 医療の安全管理に係る教育、研修及び連絡調整</li> <li>4 医療の安全確保に資する診療の状況把握及び対策の推進</li> <li>5 職員の医療の安全に関する意識向上の状況確認</li> <li>6 医事紛争及び医療訴訟の対応</li> <li>7 各部署における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びに作成した業務改善計画書に基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録</li> <li>8 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、医療安全対策に係る患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱い並びにその他の医療安全管理者の活動実績の記録</li> <li>9 医療安全管理部検討会に係る運営及び事務</li> <li>10 その他アクシデントの発生防止及び医療の安全性の向上に関し必要な事項</li> </ol> <p>《モニタリング項目》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 周術期肺血栓塞栓症             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 手術症例 DVT/PTE 予防アセスメント施行率</li> <li>② 手術例における肺血栓塞栓症予防管理料算定率</li> <li>③ 1万手術あたり周術期肺血栓塞栓症発生率</li> </ol> </li> <li>2 入院患者の転倒転落             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 入院患者 1,000 人日あたり転倒・転落発生率</li> <li>② 入院患者 1,000 人日あたり転倒・転落発生後外傷（レベル 3a 以上）発生率</li> </ol> </li> <li>3 中心静脈カテーテル挿入（とくに挿入時の医原性気胸）             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 中心静脈カテーテル穿刺挿入報告書提出率</li> <li>② 内頸静脈穿刺における気胸発生率</li> <li>③ 鎖骨下静脈穿刺における気胸発生率</li> </ol> </li> </ol> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。          ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（22 件）、及び許可件数（20 件）</p>	



- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  ・無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・無 ）
- ・活動の主な内容：
  - 1 高難度新規医療技術の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
  - 2 高難度新規医療技術の実施の適否の決定に関すること。
  - 3 新規医療技術等の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - 4 新規医療技術等の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その新規医療技術等の手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - 5 その他新規医療技術等の実施の安全性の確保に必要な事項
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  ・無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  ・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（25件）、及び許可件数（18件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・無 ）
- ・活動の主な内容：
  - 1 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
  - 2 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の適否の決定に関すること。
  - 3 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - 4 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - 5 その他未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の安全性の確保に必要な事項。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（  ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 370 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 211 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - 1 院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について、医療安全管理部でリストアップを行い、事例件数の報告及び事例検証を実施
  - 2 院内の入院患者における全死亡・死産症例について、主治医・担当医に報告することを義務化し、報告実施状況の確認及びその結果について報告
  - 3 重大な事例が生じた場合、速やかに原因究明のための調査及び分析、分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知、方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（  ）（病院名：福井大学医学部附属病院）・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（  ）（病院名：弘前大学医学部附属病院）・無
- ・技術的助言の実施状況

福井大学医学部附属病院に対して以下の助言を行った。

画像診断報告書に関しては、未確認の報告書を医療安全管理部の診療情報管理士が調査し、報告後2週間経っても確認されていない未読報告書に関しては、放射線科の担当者から督促する仕組みが構築されていた。また、画像診断依頼内容からは予期することができず、患者の予後に大きな影響を与える「重要所見」の未確認がしばしば重大な結果につながることが多いが、その点に対しても対策が取られていた。すなわち、「重要所見」は画像診断報告書に赤字で記載され目立つように表示されている。さらに、未読報告書で「重要所見」がある場合には、その後「重要所見」に対して適切な介入（治療、検査、他紹介など）が行われたかどうかを診療情報管理士が確認する仕組みが構築されている。ただ、「重要所見」へ適切な介入が行われているかどうかの確認が、未読の画像診断報告書のみに限られている点が気になった。依頼医等が画像診断報告書の既読確認を行っていても、「重要所見」に対して適切な介入が失念されてしまう事例は、全国の病院で時々発生している。未読報告書だけでなく、既読確認された画像診断報告書の「重要所見」に関して、適切な介入がされたかどうかの確認も検討されてはいかがだろうか。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者からの医療安全管理に係る相談等に対し、対応できるよう窓口を常設している。また、院内掲示により設置場所、担当者、責任者及び対応時間等を患者等に明示している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和5年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、e-ラーニングを用いて学習効果を測定し、院内会議を通じて職員にフィードバックした。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、日本医療機能評価機構が開催した令和5年度特定機能病院管理者研修を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価について、書類審査及び令和元年11月27日～29日に訪問審査を実施し、令和3年1月4日付けで認定証の交付を受けた。

認定期間 2019年12月20日～2024年12月19日

認定発行日 令和3年1月4日

認定病院種別及び番号

主たる機能：一般病院3 認定第GB146-5号

副機能：精神科病院認定第GB146号

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

なし

- ・評価を踏まえ講じた措置  
なし

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容</li> <li>1. 医師法に基づく医師免許証を交付された医師であること</li> <li>2. 学識に優れ、教育研究、診療及び病院経営に識見を有し、かつ、管理運営能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医学博士又は博士（医学）の学位を有し、教授相当の十分な業績を有する者</li> <li>② 総合病院において病院長、副病院長、診療科長、中央診療部門長もしくは同等職の経験を有する者（当該病院内外での組織管理経験が含まれること。）</li> <li>③ 様々な医療環境の変化に対応しながら、強いリーダーシップを持って病院運営及び経営にあたる意欲がある者</li> </ul> </li> <li>3. 医療安全管理業務を経験し、医療安全の確保に必要な資質・能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務経験を有する者、又は医療安全管理委員会もしくは同委員会に準ずる委員会の構成員であった者</li> <li>② 医療安全管理業務経験を踏まえ、医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）</li> <li>・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</li> </ul>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
澤村 明	新潟大学 理事 ・ 副学長	○	学長が指名する理事 (選考委員会規程第3条第1号)	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
土田 正則	新潟大学 医歯 学総合病院 副 病院長		学長が指名する医科系運営会議及 び歯科系運営会議の構成員	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

			(選考委員会規程第3条第2号)	
多部田 康一	新潟大学 医歯 学総合病院 副 病院長		学長が指名する医科系運営会議及 び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第3条第2号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
福地 健郎	新潟大学 医歯 学系 教授		学長が指名する医科系運営会議及 び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第3条第2号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
佐藤 昇	新潟大学 医学 部長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
井上 誠	新潟大学 歯学 部長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
小野寺 理	新潟大学 脳研 究所長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第3条第3号)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
堂前 洋一郎	一般財団法人新 潟県医師会 会 長		学外の有識者：県医師会長として、 医療・保健・福祉全般に豊富な知 見を有する(選考委員会規程第3 条第4号)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
中村 洋心	新潟県福祉保健 部 部長		学外の有識者：県の医療に係る担 当者として、医療・保健・福祉全 般に豊富な知見を有する(選考委 員会規程第3条第4号)	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための  
合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合議体の主要な審議内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医歯学総合病院（以下「病院」）の運営方針に関する事項</li> <li>・ 病院の中期目標・中期計画に関する事項</li> <li>・ 病院の予算及び決算に関する事項</li> <li>・ 病院の教員の選考に関する事項</li> <li>・ 病院の組織に関する重要事項</li> <li>・ 病院の教育・研究及び診療に関する重要事項</li> <li>・ その他病院の管理・運営及び経営に関する重要事項</li> </ul> </li>   <li>・ 審議の概要の従業者への周知状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医科系及び歯科系運営会議及び連絡会議において周知。</li> <li>・ 院内会議システム（Web）にて会議資料を随時閲覧可能</li> </ul> </li>   <li>・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</li>   <li>・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有 ・ <input type="checkbox"/> ）</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富田 善彦	○	医師	病院長
土田 正則		医師	副病院長
多部田 康一		歯科医師	副病院長
猪又 孝元		医師	副病院長
大内 章嗣		歯科医師	副病院長
若井 俊文		医師	副病院長
鳥谷部 真一		医師	副病院長
菊地 利明		医師	副病院長
白砂 由美子		看護師	副病院長・看護部長
前島 一実		副病院長（事務部長）	副病院長・事務部長
堀井 新		医師	病院長補佐
瀬尾 憲司		歯科医師	病院長補佐

川島 寛之		医師	病院長補佐
外山 聡		薬剤師	薬剤部長
金澤 勉		放射線技師	医療技術部長
小野寺 理		医師	病院長特別補佐

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・無 ）
- ・ 公表の方法  
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
- ・ 規程の主な内容  
新潟大学医歯学総合病院規程第3条において、「病院長は、病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括し、第12条の規定により設置する新潟大学医歯学総合病院運営委員会が審議した病院の管理及び運営に関する重要事項に関し、その決定に関する権限と責任を有するものとする。」と規定。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
新潟大学医歯学総合病院規程第4条及び5条において、副病院長を置くこと及び病院長特別補佐、病院長補佐を置くことができることを規定。  
副病院長の役割は、病院長の職務を助け、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名する副病院長が、その職務を代理するほか、各副病院長に「総括」「歯科総括」「企画戦略（研究・医療連携）」「企画戦略（医科歯科連携）」「診療・病院機能」「医療安全」「感染管理・教育」「看護（地域連携）」「総務・財務」の各担当を命じている。  
病院長特別補佐の役割は、病院の管理運営に関し、病院長に助言等を行うものとする。また病院長補佐の役割は、病院長が諮問又は指示した事項について、調査、企画・立案するとともに、その実施に関して病院長の職務を補佐するものとするほか、各病院長補佐には「病院機能強化（医科）」「病院機能強化（歯科）」「医療連携全般」を命じている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
全国会議、関係機関が主催する担当者研修会等に参加。



規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する  
監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</li> <li>・ 活動の主な内容：医療安全管理責任者の業務、医療安全管理部門の業務、医療安全管理委員会の業務、医薬品安全管理責任者の業務、医療機器安全管理責任者の業務、医療放射線安全管理責任者の業務、及びその医療安全管理全般に関する業務についての監査を実施。</li> <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 公表の方法：新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</li> </ul>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
月岡 恵	元 新潟保健所 長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
佐藤 信昭	元 新潟県立がんセンター新潟 病院長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
三部 正歳	りゅーと法律税 務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
堀江 直純	新潟大学理事		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
岡 俊幸	新潟大学監事		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
  3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が  
法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容  
本学監査室において、本学の業務及び会計処理の状況について、適法性及び合理性の観点から調査及び検証を行い、適正かつ効率的な運営を確保するための内部監査を実施。
  
- ・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 (  ・ 無 )
- ・ 公表の方法  
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による  
業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況</li> </ul> <p>病院運営協議会において、運営方針に関する事項、中期目標・中期計画に関する事項、予算・決算に関する事項、教員の選考に関する事項、組織に関する重要事項、教育・研究及び診療に関する重要事項、その他管理・運営及び経営に関する重要事項について、病院長に報告させ、業務を監督する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議体の実施状況（ 年1回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年1回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
澤村 明	新潟大学 理事・副学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
佐藤 昇	新潟大学 医学部長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
井上 誠	新潟大学 歯学部長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
小野寺 理	新潟大学 脳研究所長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
堂前 洋一郎	一般財団法人新潟県医師会 会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
中村 洋心	新潟県福祉保健部 部長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
荻野 構一	公益社団法人新潟県薬剤師会 会長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
鈴木 幸雄	新潟県三条地域振興局健康福祉環境部 医監		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
河原 和夫	医療法人社団 崎陽会 日の出ヶ丘病院 院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に  
疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 通報件数 (年0件)
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 周知の方法
  - ・ 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
  - ・ 職員向け「医療スタッフマニュアル」

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報発信の方法、内容等の概要<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。</li><li>・ 診療案内冊子を毎年作成（更新）し、県内全医療機関へ送付している。</li></ul></li></ul>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要<ul style="list-style-type: none"><li>・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がんセンターボード」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。</li><li>・ 医療連携口腔管理治療部が介入し、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。</li></ul></li></ul>	